Canon

BUBBLE JET PRINTER

BJ F210

Wonder BJ

基本操作ガイド



Photo Realism

COLOR BUBBLE JET

ご使用前に必ずこの基本操作ガイドをお読みください。
将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

J QA7-1151-V03

はじめに

本書では、大切な記載事項には下記のようなマークを使用しています。これらの記載事項は必ずお守りください。

⚠ 警告：取扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。

⚠ 注意：取扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れや物的損害が発生する恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。

禁止：取扱いを誤った場合に、製品の故障や損傷、品質の低下が発生する恐れのある禁止事項が書かれています。快適に使用していただくために、必ずこの禁止事項をお守りください。

また、本書では、下記の表記を使用しています。

参考：操作の参考になることや補足説明が書かれています。お読みになることをお勧めします。

Windows：Windows 98/Windows 95をお使いの場合にお読みください。

Macintosh：USBインタフェースを標準搭載したMacintoshシリーズをお使いの場合にお読みください。

参照ページは、以下の表記を使用しています。

（例）➡**「使用できる用紙」（19ページ）**：本書のほかのページに、関連する内容が書かれています。お読みになることをお勧めします。

CD-ROM：『リファレンスガイド』（CD-ROM）で、さらに詳しく説明されている内容です。内容をさらに理解していただくために、ご覧になることをお勧めします。

商標について

BJ および BJC は、キヤノン株式会社の商標です。
Microsoft®、Windows®、Windows NT®は、米国Microsoft社の米国、その他の国における登録商標です。
iMac、Macintoshは、米国Apple Computer, Incの商標です。
Adobe、AcrobatはAdobe Systems Incorporatedの商標で、特定の法域で登録されています。
PC-9800は日本電気株式会社の商標です。
その他、本書に記載されている会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。

説明書について

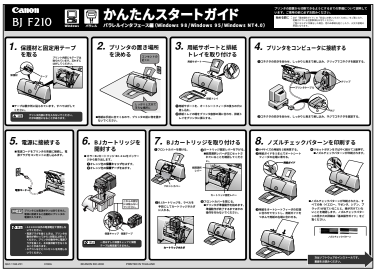
- 本書では、Microsoft® Windows® 95、Microsoft® Windows® 98、Microsoft® Windows NT® 4.0をそれぞれWindows 95、Windows 98、Windows NT4.0と略して記載しています。
- 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは、禁止されています。
- 本書の内容に関しては、将来予告なく変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期していますが、万一不審な点や誤り、記載漏れなどにお気づきの点がございましたら、お客様相談センターまでご連絡ください。電話番号は、別紙の「ご相談窓口のご案内」に記載しています。
- このプリンタを運用した結果については、上記にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。

国際エネルギースタープログラムについて

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。
国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしてオフィス機器に関する日本および米国共通の省エネルギーのためのプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費が比較的少なく、その消費を効果的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により、参加することができる任意制度となっています。対象となる製品はコンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリおよび複写機で、それぞれの基準並びにマーク（ロゴ）は、日米で統一されています。

各説明書の読みかた

かんたんスタートガイド



■まずはじめに、お読みください。

プリンタの設置から印刷できるようにするまでの準備作業について説明しています。

- 「パラレルインタフェース編（Windows 98/Windows 95/Windows NT4.0)」
- 「USBインタフェース編（Windows 98)」
- 「USBインタフェース編（Macintoshシリーズ)」

の3種類があります。お使いの環境に合ったものをご覧ください。
詳しくは、付属している『接続する前に』を参照してください。

基本操作ガイド



■印刷を開始する前にお読みください。

普通紙を使った基本的な印刷手順、はがきに印刷する方法、お手入れの方法、困ったときの対処方法を説明しています。
また、別売品について紹介しています。

リファレンスガイド（プリンタドライバ/リファレンスガイドCD-ROM）



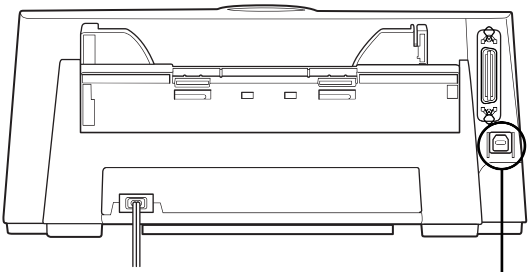
■画面で見る取扱説明書です。

- 普通紙以外の用紙の使いかた、効果的な印刷のしかた
- 写真を印刷するときのテクニック
- プリンタドライバでの詳細な設定のしかた
- スキャナカートリッジの詳しい使いかた
- 困ったときには（『基本操作ガイド』に書かれている以外の内容が含まれています）

などを説明しています。ご覧になるには、Adobe Acrobat Readerが必要ですが、お持ちでない場合は、このCD-ROMを使ってインストールできます。操作方法はCD-ROMケースに入っているブックレットの説明に従ってください。

USBインタフェースでお使いになる前に

コンピュータのUSBインタフェースに接続してお使いになる場合は、次の点にご注意ください。プリンタのUSBケーブル接続部は、下図の位置にあります。



（背面から見た図）

次のときは、USBケーブルの抜差しをしないでください。

・プリンタドライバのインストール中
・コンピュータの電源を入れて、OS（Windows 98またはMac OS）が起動する途中
・プリンタが印刷中

USBインタフェースでは、コンピュータやプリンタの電源が入っている間でも、USBケーブルを抜き差しすることができます。ただし、上の場合にケーブルを抜き差しすると、コンピュータやプリンタが正しく動作しなくなる場合があります。

USBケーブルの抜差しは、５秒以上の間隔を空けてください。

コンピュータやプリンタの電源が入っている状態でUSBケーブルを抜差しするときは、必ず、抜いてから5秒以上の間隔を空けて差すようにしてください。抜いてからすぐにケーブルを差し込むと、正しく動作しないことがあります。

印刷中はプリンタの電源を絶対に切らないでください。

プリンタ誤動作の原因になりますので、印刷中はプリンタの電源を切らないでください。

コンピュータやプリンタの電源が入っている状態でUSBケーブルを抜差しするときは、コンピュータ側（またはUSBハブ側）を抜差しするようにしてください。

目次

Windows 95／Windows NT4.0をお使いの方へ
本書に掲載されているプリンタドライバの設定画面は、おもにWindows 98で使用する場合の画面です。Windows 95で使用する場合も、ほとんど同じ設定画面が表示され、操作方法も変わりません。Windows NT4.0で使用する場合は、操作方法に違いがあります。詳細は、Windows NT用プリンタドライバに付属している、「操作説明」ファイルをご覧ください。
「操作説明」ファイルを開くには、プリンタドライバのインストール完了後、[スタート]ボタンをクリックして、[プログラム]、[BJ ラスタプリンタ]、[操作説明]を順に選択します。

⚠ 安全にお使いいただくために

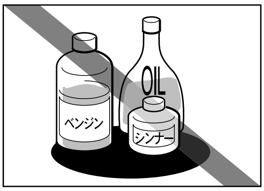
安全にお使いいただくために、本書の注意事項を必ずお守りください。また、本書に記載されていること以外は行わないでください。思わぬ事故を起こしたり、火災や感電の原因になります。

お願い：P.4〜7で使用しているプリンタの絵はイメージイラストです。BJ F210とは形態が異なりますので、ご了承ください。

⚠ 警告

設置場所について

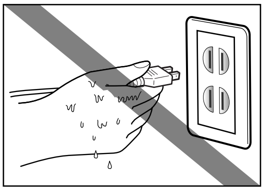
アルコール・シンナーなどの引火性溶剤の近くに設置しないでください。



引火性溶剤が内部の電気部品に触れると火災や感電の原因になります。

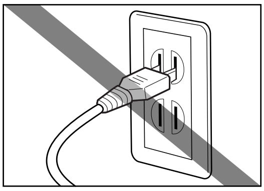
電源について

濡れた手で電源プラグを抜差ししないでください。



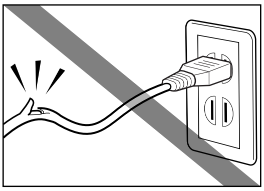
感電の原因になります。

電源プラグは確実にコンセントの奥まで差し込んでください。



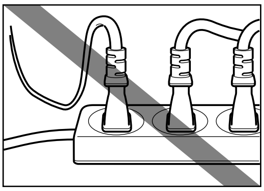
差込みが不十分だと、火災や感電の原因になります。

電源コードを傷つける、加工する、引っ張る、無理に曲げるなどのことはしないでください。また電源コードに重い物をのせないでください。



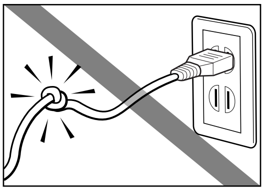
傷ついた部分から漏電して、火災や感電の原因になります。

ふたまたソケットなどを使ったタコ足配線は行わないでください。



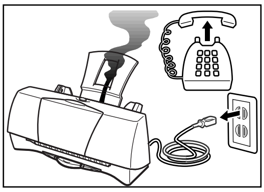
火災や感電の原因になります。

電源コードを束ねたり、結んだりして使用しないでください。



火災や感電の原因になります。

万一、煙が出たり変な臭いがするなどの異常が起こった場合、すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。

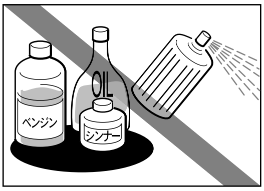


そのまま使用を続けると火災や感電の原因になります。販売店または修理サービスご相談窓口までご連絡ください。

⚠ 警告

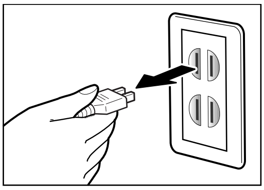
清掃について

清掃のときは、水で湿らせた布を使用してください。アルコール・ベンジン・シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。



プリンタ内部の電気部品に接触すると火災や感電の原因になります。

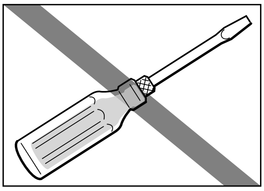
清掃のときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。



電源プラグが差し込まれたままになっていると、作動した内部の部品に触れてけがの原因になることがあります。

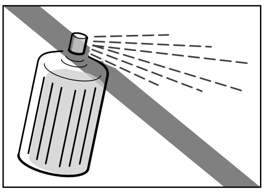
その他

プリンタを分解・改造しないでください。



内部には電圧の高い部分があり、火災や感電の原因になります。

プリンタの近くでは、可燃性のスプレーなどは使用しないでください。

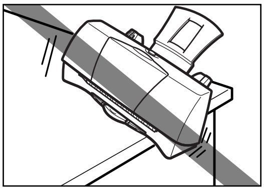


スプレーのガスが内部の電気部分に触れて、火災や感電の原因になります。

⚠ 注意

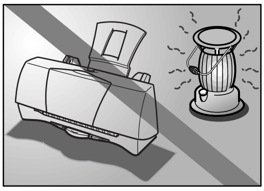
設置場所について

不安定な場所や振動のある場所に設置しないでください。



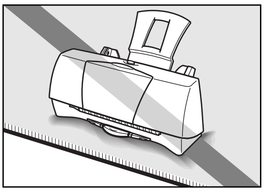
プリンタが落ちたり倒れたりして、けがの原因になることがあります。

湿気やほこりの多い場所、直射日光の当たる場所、高温や火気の近くには設置しないでください。



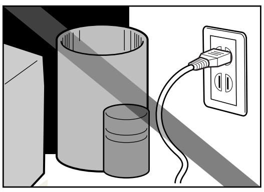
火災や感電の原因になることがあります。周囲の温度が5〜35度、湿度が10〜90%(結露しないこと)の範囲の場所でお使いください。

毛足の長いじゅうたんやカーペットなどの上には設置しないでください。



毛やほこりなどが製品の内部に入り込んで火災の原因になることがあります。

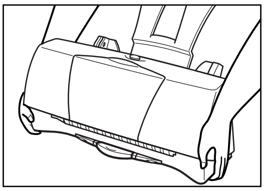
いつでも電源コードが抜けるように、コンセントの周りには物を置かないでください。



万一プリンタに異常が起きたとき、すぐに電源コードがはずせないため、火災や感電の原因になることがあります。

⚠ 注意

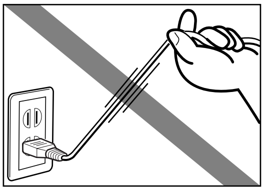
プリンタを持ち運ぶときは、必ず両側下部分を両手でしっかりと持ってください。



ほかの場所を持つと不安定なため、落としてけがの原因になることがあります。

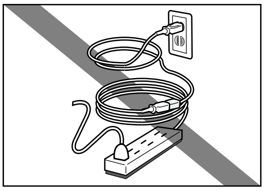
電源について

電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。



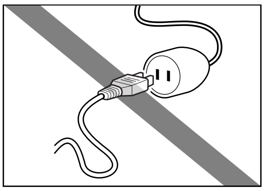
コードを引っ張ると電源コードが傷つき、火災や感電の原因になることがあります。

延長電源コードは使用しないでください。



火災や感電の原因になることがあります。

AC100V以外の電源電圧で使用しないでください。



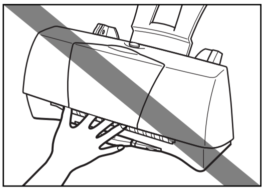
火災や感電の原因になることがあります。なおプリンタの動作条件は次のとおりです。この条件にあった電源でお使いください。

電源電圧：AC100V

電源周波数：50/60Hz

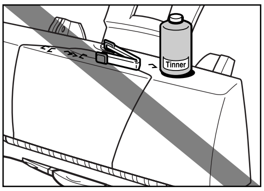
その他

印刷中はプリンタの中に手を入れないでください。



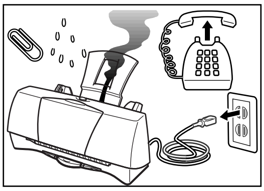
内部で部品が動いているため、けがの原因になることがあります。

プリンタの上にクリップやホチキス針などの金属物や液体・引火性溶剤（アルコール・シンナーなど）の入った容器を置かないでください。



プリンタ内部に落ちたりこぼれたりすると、火災や感電の原因になることがあります。

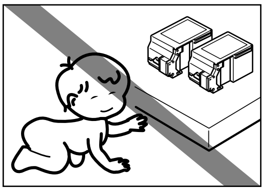
万一、異物（金属片・液体など）がプリンタ内部に入った場合は、プリンタの電源プラグをコンセントから抜いて、販売店または修理サービスご相談窓口までご連絡ください。



そのまま使用を続けると火災や感電の原因になることがあります。

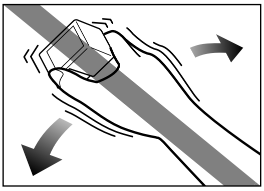
BJカートリッジについて

安全のため、お子様の手の届かないところへ保管してください。



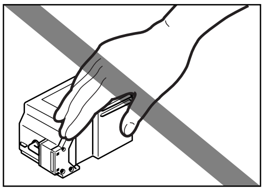
誤ってインクをなめたり飲んだりした場合には、ただちに医師にご相談ください。

BJカートリッジを落としたり振ったりしないでください。



インクが漏れて周囲や衣服を汚すことがあります。

印刷後、BJカートリッジの金属部分には触れないでください。



熱くなっている場合があり、やけどの原因になることがあります。

電波障害規制について

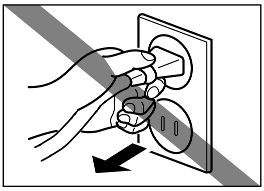
この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

蛍光灯などの電気製品の近くに置くときのご注意

蛍光灯などの電気製品とプリンタは約15cm以上離してください。近づけると蛍光灯のノイズが原因でプリンタが誤動作することがあります。

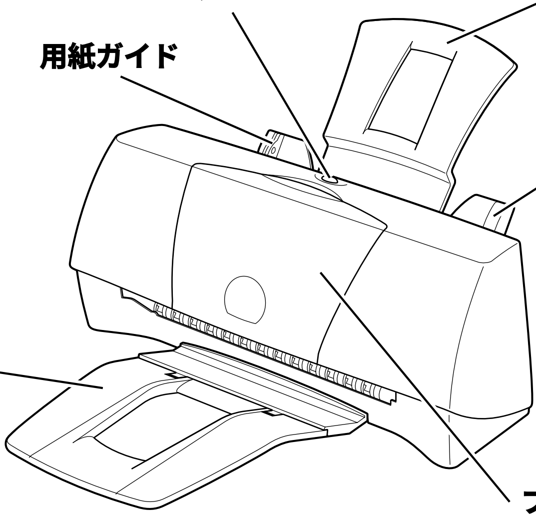
電源を切るときのご注意

電源プラグを抜くときは、給紙や排紙、印刷、プリントヘッドのクリーニングなどのプリンタの動作が終わってから1分間以上待ってください。プリンタの動作中に電源プラグを抜くと、その後印刷できなくなることがあります。



各部の名称と役割

前面



用紙ガイド
用紙をセットしたときに、用紙の端に軽く当てます。

用紙サポート
オートシートフィーダにセットされた用紙を支えます。

オートシートフィーダ
ここに用紙をセットします。一度に複数枚の用紙をセットできます。自動的に1枚ずつ給紙されます。

フロントカバー
BJカートリッジの交換、紙間選択レバーの切替え、紙づまりのときに開けます。

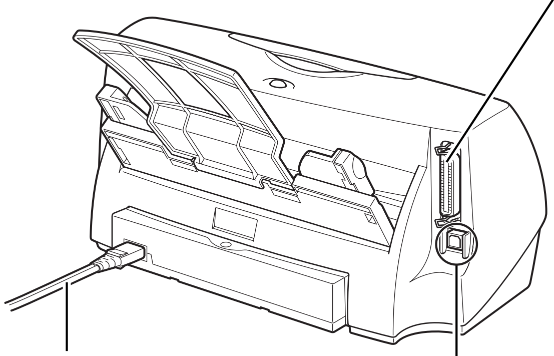
参考

フロントカバーを開けてしばらくそのままにしてからフロントカバーを閉じると、自動的にプリントヘッドのクリーニングが行われます。これは、プリントヘッドの状態を最適に保つためのもので、インクが消費されます。インクの消費量を節約するためには、フロントカバーを不必要に開閉しないことをお勧めします。

排紙トレイ
印刷された用紙がここに排出されます。印刷するときには手前に倒しておきます。
印刷しないときには、たたんでおくことができます。

リセットボタン
用紙がセットされていないか、正しく送られなかった場合、トラブルを解消してからこのボタンを押すと、印刷できるようになります。
すばやく続けて2回押すと、ノズルチェックパターンが印刷されます。
2秒以上押し続けると、プリンタがリセットされたあとプリントヘッドのクリーニングが行われます。クリーニングはインクを消耗しますので、不必要にリセットボタンを2秒以上押し続けないでください。

背 面

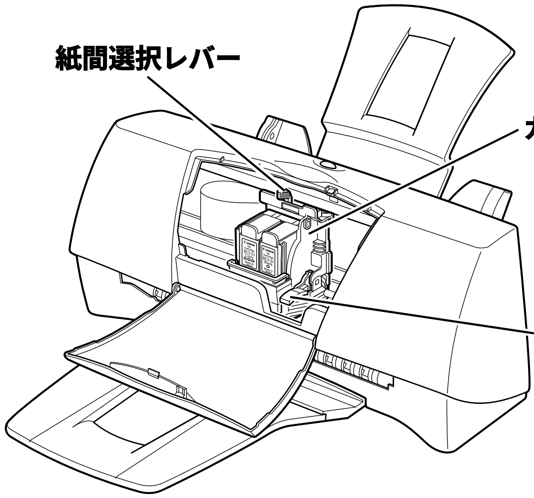


プリンタケーブル接続部
パラレルインタフェースでコンピュータと接続するためのコネクタです。

USBケーブル接続部
USBインタフェースでコンピュータと接続するためのコネクタです。

電源コード
プリンタの背面に接続します。

内 部



カートリッジホルダ
BJカートリッジまたはスキャナカートリッジを取り付けます。

紙間選択レバー
用紙の種類に応じて、プリントヘッドと用紙の間隔を切り替えます。

カートリッジ固定レバー
カートリッジホルダにセットされたカートリッジを固定します。カートリッジを交換するときはレバーを上げます。

Windowsで印刷してみよう

印刷までの流れ（右ページの説明も見ながら操作してください）

アプリケーションソフトで、印刷したい原稿を作成する（または、印刷したいファイルを開く）

↓

プリンタの準備をする

↓

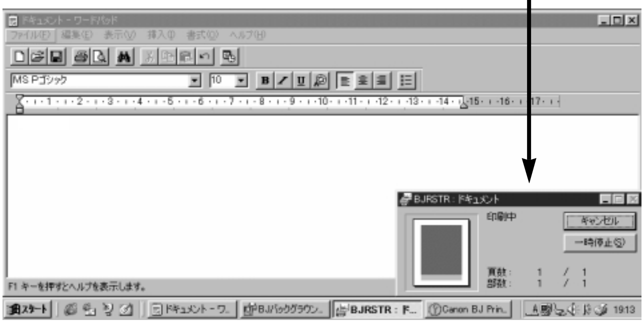
プリンタドライバで、印刷の設定をする

↓

アプリケーションソフトで、印刷を開始する

↓

印刷中は、次のような画面が表示されます



BJバックグラウンダ
印刷の進行状況を表示します。また、実行中の印刷を中止したり、一時停止することもできます。

BJバックグラウンドモニタ
Windowsのタスクバーにあるボタンをクリックすると、印刷の状況や印刷待ちの文書があるかどうかを見ることができます。また、印刷実行中や印刷待ちの文書を削除して、印刷を中止することができます。

BJステータスモニタ
Windowsのタスクバーにあるボタンをクリックすると、プリンタの状態が表示されます。電源が入っていない、用紙がセットされていないなどのトラブルが発生すると、自動的にメッセージと対処方法を表示します。また、実行中の印刷を中止することもできます。

参考 普通紙以外の用紙に印刷するときは、上の手順以外に操作が必要になります。

➡「はがきに印刷する Windows」（12ページ）
➡ CD-ROM 「いろいろな用紙に印刷するときのポイント」

『かんたんスタートガイド』を読んでプリンタの準備作業が終わったら、印刷してみましょう。
ここでは、普通紙に印刷する場合の手順を簡単に説明します。

このときに、印刷する用紙のサイズを、アプリケーションソフトの[ページ設定]などで設定しておいてください。

❶ プリンタの電源が入っていることを確認する

電源コードがプリンタに接続され、電源プラグがコンセントに差し込まれていることを確認します。電源が接続されると、プリンタの電源が入ります。

❷ プリンタに用紙が入っていない場合は、セットする

➡「用紙をセットする」（18ページ）

❶ プリンタドライバの設定画面を開く

アプリケーションソフトの[ファイル]メニューで[印刷]を選び、印刷を実行する画面で[プロパティ]をクリックします。



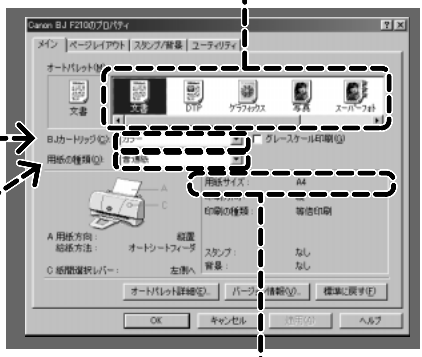
参考 アプリケーションソフトによって、設定画面の開きかたや印刷の実行手順は多少ちがいます。お使いのアプリケーションソフトの取扱説明書も併せてご覧ください。

❷ 印刷の設定を行う

まず、印刷の目的に適したアイコンを選択します。

使用するBJカートリッジを選択します。

使用する用紙を選択します。



参考 [用紙サイズ]の設定が、アプリケーションソフトで設定したものと同じかどうか、確認してください。ちがっている場合は、[ページレイアウト]タブをクリックして、同じサイズに変更してください。

❸ [OK]をクリックして、プリンタドライバの設定画面を閉じる



左の図のような画面で、[OK]をクリックすると、印刷が始まります。

はがきに印刷する Windows

はがきに印刷するときは、用紙のセットのしかたが普通紙と若干ちがいます。また印刷する内容によってプリンタドライバで印刷設定を変える必要があります。
ここでは官製はがきを例にして、印刷のしかたを説明します。

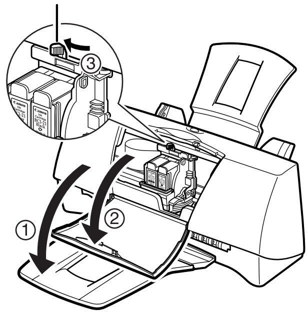
禁止

・カールしたはがきは使用しないでください。
　カールしたはがきを使用すると、はがきが斜めに送られてしまいます。
　カールしているときは、はがきを逆向きに曲げてカールを直してください。このとき、はがきの表面が波状にならないよう注意してください。
・往復はがき（折り目がついているもの）、裏面が写真のはがき、写真やステッカーを貼ったはがきは使用しないでください。

1 紙間選択レバーを左にセットする。

❶ 排紙トレイを手前に倒す。
❷ プリンタが電源に接続されていることを確認し、フロントカバーを開ける。
❸ 紙間選択レバーを左（　）にセットする。

セットしたらフロントカバーを閉じます。



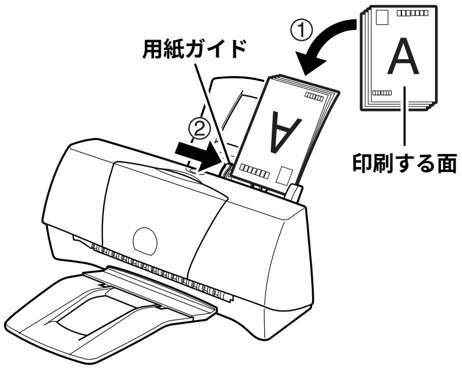
2 はがきをセットする。

❶ 右図を参照してはがきの上下を確認し、印刷する面を表にしてオートシートフィーダの右端に合わせてセットする。
❷ 用紙ガイドを、はがきの左端に合わせる。

特に、はがきの上下を間違えてセットしないように注意してください。

参考

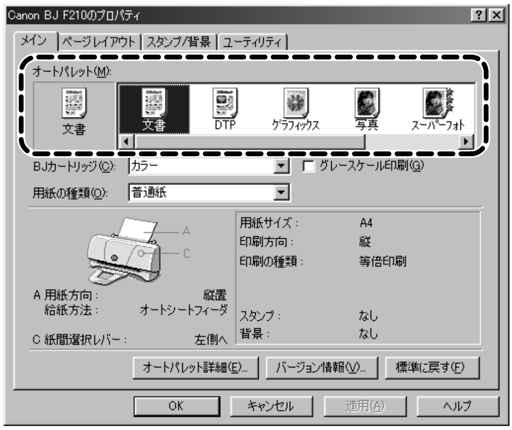
はがきは最大20枚までセットできます。



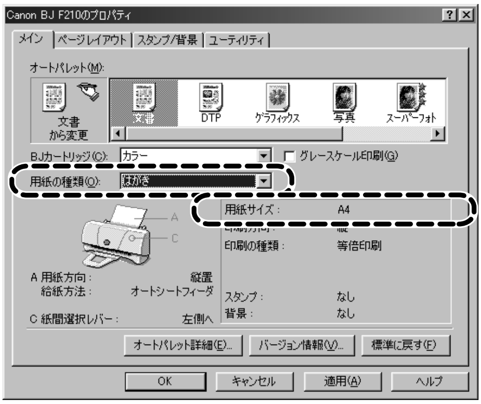
3 プリンタドライバの設定画面を開き、印刷する内容に合わせて[オートパレット]を選択する。

➡「Windowsで印刷してみよう」（10ページ）

印刷する内容	選択するアイコン	[BJカートリッジ]の設定
・宛名 ・文字がほとんど	 文書	[カラー] （カラーBJカートリッジ）
文字とイラストが混在	 DTP	
写真が中心	 写真	
	 スーパーフォト	[フォト] （フォトBJカートリッジ）
スキャナやデジタルカメラで読み取った画像	 デジカメ	



4 [用紙の種類]で[はがき]を選択する。



5 手順*4*の画面で、[用紙サイズ]が[はがき]または[はがき横]になっていることを確認する。

はがきを縦置きにセットした場合は[はがき]、横置きにセットした場合は[はがき横]に設定されている必要があります。
[用紙サイズ]が[はがき]または[はがき横]になっていない場合は、アプリケーションソフトの設定を確認してください。アプリケーションソフトの設定に問題がなければ、[ページレイアウト]タブをクリックし、[用紙サイズ]で[はがき]または[はがき横]を選択してください。



6 [OK]をクリックして印刷を開始する。

印刷済みのはがきは1枚ごとに、排紙トレイから取り除いてください。
反対側の面を印刷する時には、印刷面が十分に乾燥するのを待って（約2分間）、同様の手順で印刷するようにしてください。

禁止

はがきを持つときはできるだけ端を持ち、インクが乾くまで印刷面に触れないでください。

写真の再現性にこだわるなら…

通常の官製はがきではなく、表面に光沢のあるはがきを使うと写真の発色性がさらに向上します。キヤノン製専用紙としては以下があります。

・フォト光沢ハガキ（KH-201N）

印刷するときは、プリンタドライバの[用紙の種類]で必ず[光沢はがき]を選択してください。その他の設定は官製はがきの場合と同じです。（ただし、横置きで印刷することはできません）

Macintoshで印刷してみよう

印刷までの流れ（右ページの説明も見ながら操作してください）

アプリケーションソフトで、用紙設定をして、印刷したい原稿を作成する（または、印刷したいファイルを開く）

↓

プリンタの準備をする

↓

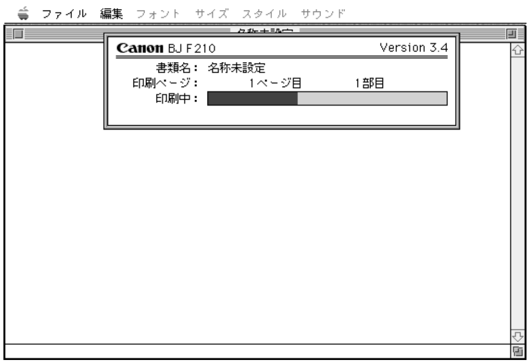
プリンタドライバで、印刷の設定をする

↓

アプリケーションソフトで、印刷を開始する

↓

印刷中は、次のような画面が表示されます



- Macintosh1台をプリンタと接続して、印刷している場合
- ネットワークのプリントサーバ機で印刷している場合

  →印刷の進行状況が表示されます。

- ネットワークのクライアント機で印刷している場合

  →プリントサーバ機への転送状況が表示されます。

参考　普通紙以外の用紙に印刷するときは、上の手順以外に操作が必要になります。

➡「はがきに印刷する Macintosh」（16ページ）

➡ CD-ROM 「いろいろな用紙に印刷するときのポイント」

『かんたんスタートガイド』を読んでプリンタの準備作業が終わったら、印刷してみましょう。
ここでは、普通紙に印刷する場合の手順を簡単に説明します。

用紙設定のしかた

アプリケーションソフトの[ファイル]メニューで、[用紙設定]を選ぶのが一般的です。



[用紙設定]を選ぶと、用紙設定ダイアログが開きます。このダイアログで、[用紙サイズ]を、印刷したい用紙と同じサイズにします。

参考 アプリケーションソフトによって、用紙設定ダイアログの開きかたや印刷の実行手順は多少ちがいます。お使いのアプリケーションソフトの取扱説明書も併せてご覧ください。

❶ プリンタの電源が入っていることを確認する

電源コードがプリンタに接続され、電源プラグがコンセントに差し込まれていることを確認します。電源が接続されると、プリンタの電源が入ります。

❷ プリンタに用紙が入っていない場合は、セットする

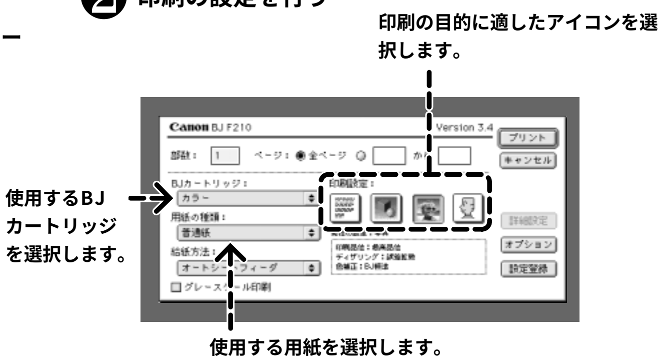
➡「用紙をセットする」(18ページ)

❶ プリンタドライバの設定画面を開く

アプリケーションソフトの[ファイル]メニューで、[プリント]を選ぶのが一般的です。



❷ 印刷の設定を行う



上の❷の画面で、[プリント]をクリックすると、印刷が始まります。

はがきに印刷する Macintosh

はがきに印刷するときは、用紙のセットのしかたが普通紙と若干ちがいます。また印刷する内容によってプリンタドライバで印刷設定を変える必要があります。
ここでは官製はがきを例にして、印刷のしかたを説明します。

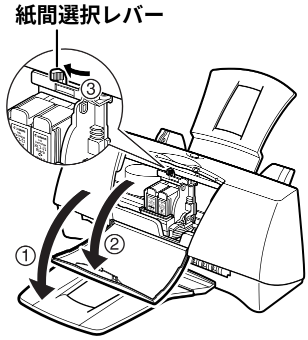
禁止

・カールしたはがきは使用しないでください。
　カールしたはがきを使用すると、はがきが斜めに送られてしまいます。
　カールしているときは、はがきを逆向きに曲げてカールを直してください。このとき、はがきの表面が波状にならないよう注意してください。
・往復はがき（折り目がついているもの）、裏面が写真のはがき、写真やステッカーを貼ったはがきは使用しないでください。

1 紙間選択レバーを左にセットする。

❶ 排紙トレイを手前に倒す。
❷ プリンタが電源に接続されていることを確認し、フロントカバーを開ける。
❸ 紙間選択レバーを左（ ）にセットする。

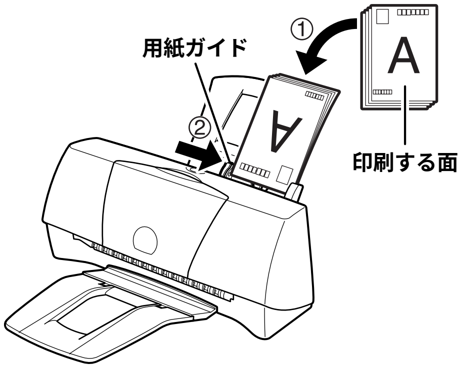
セットしたらフロントカバーを閉じます。



2 プリンタの電源が入っていることを確認し、はがきをセットする。

❶ 右図を参照してはがきの上下を確認し、印刷する面を表にしてオートシートフィーダの右端に合わせてセットする。
❷ 用紙ガイドを、はがきの左端に合わせる。

特に、はがきの上下を間違えてセットしないように注意してください。



参考

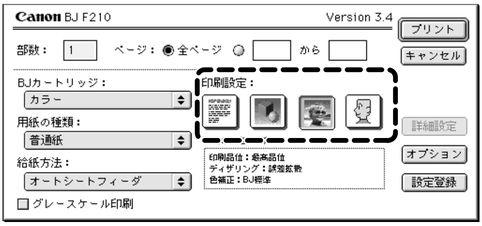
はがきは最大20枚までセットできます。

3 アプリケーションソフトの[ファイル]メニューで、[用紙設定]を選び、用紙設定ダイアログの[用紙サイズ]で[はがき]を選択する。

➡「Macintoshで印刷してみよう」（14ページ）

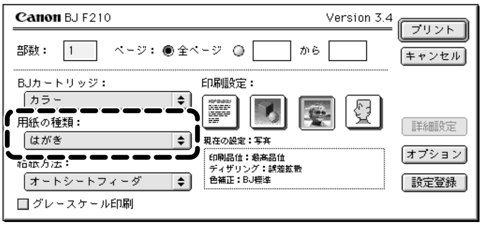
4 プリンタドライバの設定画面を開き、印刷する内容に合わせてアイコンを選択する。

➡「Macintoshで印刷してみよう」（14ページ）



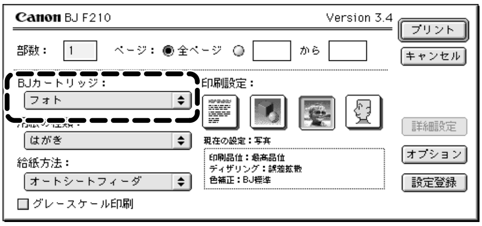
印刷する内容	選択するアイコン
・宛名 ・文字がほとんど	
文字とイラストが混在	
写真が中心	

5 [用紙の種類]で[はがき]を選択する。



6 [BJカートリッジ]で、使用するBJカートリッジを選択する。

[ブラック]……………ブラックBJカートリッジ
[カラー]………………カラーBJカートリッジ
[フォト]………………フォトBJカートリッジ



7 [プリント]をクリックして印刷を開始する。

印刷済みのはがきは1枚ごとに、排紙トレイから取り除いてください。
反対側の面を印刷するときには、印刷面が十分に乾燥するのを待って（約2分間）、同様の手順で印刷するようにしてください。

禁止

はがきを持つときはできるだけ端を持ち、インクが乾くまで印刷面に触れないでください。

写真の再現性にこだわるなら…

通常の官製はがきではなく、表面に光沢のあるはがきを使うと写真の発色性がさらに向上します。キヤノン製専用紙としては以下があります。

・フォト光沢ハガキ（KH-201N）

印刷するときは、プリンタドライバの[用紙の種類]で必ず[光沢はがき]を選択してください。その他の設定は官製はがきの場合と同じです。（ただし、横置きで印刷することはできません）

用紙をセットする

Ａ４サイズの普通紙を例にして、基本的な用紙のセットのしかたを説明します。
その他の用紙やキヤノン製専用紙については、以下のページをご覧ください。

➡「使用できる用紙」（19ページ）

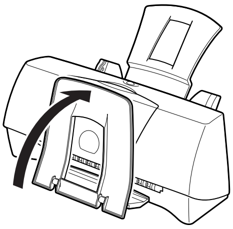
➡ CD-ROM「いろいろな用紙に印刷するには」（用紙別に説明されています）

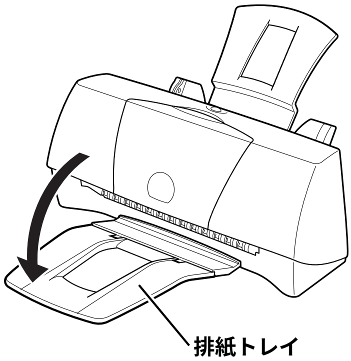
用紙をセットする前に…

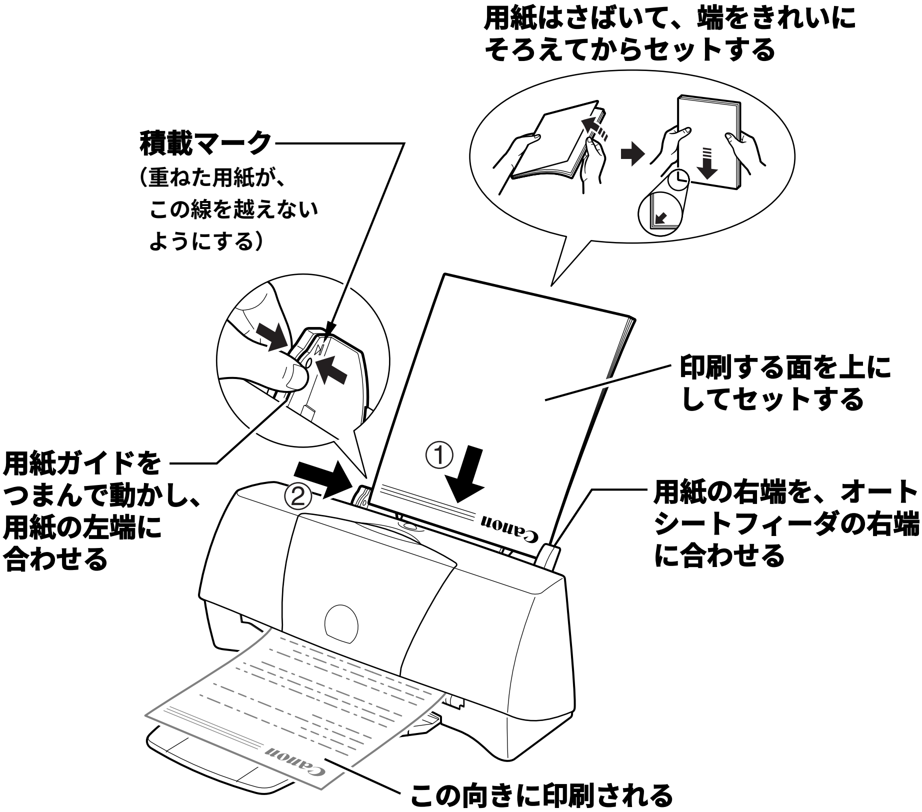
排紙トレイを手前に倒してください。

参考

印刷しないときは、右図のようにたたんでおくことができます。







印刷が終了した用紙は…

普通紙の場合は、排紙トレイに２０枚程度たまったら取り除くようにしてください。インクが乾くまで印刷面にはさわらないようにしてください。
用紙によってはインクが乾くまで時間がかかるものがありますので注意してください（→１９ページ）。

使用できる用紙

用紙についてのご注意

以下の用紙は使用しないでください。
きれいに印刷できないだけでなく、紙づまりや故障の原因になります。

- 折れている用紙
- カールしている用紙
- しわがついている用紙
- 濡れている用紙
- 薄すぎる用紙（重さ64 g/m²未満）
- 厚すぎる用紙（重さ105 g/m²を超えるもの）
- 往復はがき
- 裏面が写真のはがき
- 写真やステッカーを貼ったはがき
- ふたの部分が二重になった封筒
- ふたの部分がシールになった封筒
- 型押しやコーティングなどの加工がされた封筒
- 穴のあいている用紙（例：ルーズリーフ）

用紙を保管するときは

使わなかった用紙は入っていた袋に入れ、直射日光の当たる場所や高温多湿な場所をさけて保管してください。曲がったり、しわがつかないよう水平に置いてください。

用紙を持つときは

用紙はできるだけ端を持ち、印刷面に触れないようにしてください。
印刷面に傷がついたり汚れがつくと、印刷の品質が低下することがあります。

印刷後、インクが乾くまで印刷面には触らないでください

次の用紙は、1枚印刷するたびに取り除き、インクが乾くまで待ってください。待ち時間のめやすは以下のとおりです。

官製はがき	約2分
フォト光沢ハガキ／フォト光沢紙／フォト光沢カード	約2分
光沢フィルム	約15分
OHPフィルム／バックプリントフィルム	約15分

印刷済みの用紙を水で濡らしてしまった場合は、乾くまで印刷面にふれないでください。

参考

普通紙や高品位専用紙の場合は、排紙トレイに印刷済みの用紙が20枚程度たまったら取り除いてください。

使用できる用紙の種類と特長を説明します。それぞれの用紙のセットのしかた、印刷範囲などは、『リファレンスガイド』（CD-ROM）で詳しく説明しています。

■一般的な用紙

普通紙

複写機などで使用される一般的なコピー用紙（重さ64～105g/m^2）が使用できます。また、キヤノン製のカラーBJ用普通紙(LC-301)も使用できます。

参考

・用紙の重さについて
オートシートフィーダから給紙できる用紙の重さは105g/m^{2}以下です。
重さが105g/m^{2}を超える紙は、紙づまりなどの原因になりますので使用しないでください。
・使用できるサイズ について
➡「仕様」（46ページ）

はがき

一般の官製はがきを使用できます。往復はがきは、使用できません。

封筒

市販の定型封筒では洋形4号、洋形6号が使用できます。

■キヤノン製専用紙

最適な印字品位を保つため、次のキヤノン製専用紙のご使用をお勧めします。

高品位専用紙（HR-101S）

普通紙よりもカラーの発色性に優れています。グラフなどを多用したビジネス文書、写真の印刷に適しています。

フォト光沢紙（GP-301）

高品位専用紙よりも厚手で、印刷面に光沢があるため、写真に近い仕上がりが表現できます。

光沢フィルム（HG-101）

フォト光沢紙よりつやのあるフィルム材質のシートです。カラーBJカートリッジで印刷することにより、写真を最高品質で表現します。フォトBJカートリッジで印刷することはできません。

フォト光沢ハガキ（KH-201N）

内容を書く面に光沢がある、はがきサイズの専用紙です。写真やイラストを多用した原稿は、官製はがきより美しい仕上がりになります。（横置きで印刷することはできません。）

バックプリントフィルム（BF-102）

白い半透明のフィルム材質でできているため、裏から光を当てて印刷内容を展示できます。印刷結果は左右が反転した鏡像印刷になります。フォトBJカートリッジで印刷することはできません。

OHPフィルム(CF-102)

オーバーヘッドプロジェクタ（OHP）で使用する専用のフィルムです。カラープレゼンテーション資料の印刷に最適です。フォトBJカートリッジで印刷することはできません。

バナー紙（長尺紙）

A4サイズがつながった長い用紙です。ロングサイズのポスターや垂れ幕（最大6ページ分）などの印刷ができます。

Tシャツ転写紙（TR-201）

Tシャツ用のアイロンプリントを作成できる用紙です。印刷結果は左右が反転した鏡像印刷になります。フォトBJカートリッジで印刷することはできません。

フォト光沢カード（FM-101）

フォト光沢紙と同じ材質のカード専用紙です。ミシン目よりも大きめに印刷してカットすると、白い縁のない全面印刷ができます。

参考

キヤノン製専用紙をお使いの際は、専用紙の袋に書かれている「使用上の注意」にしたがってください。

カートリッジの種類と使いかた

■カートリッジの種類

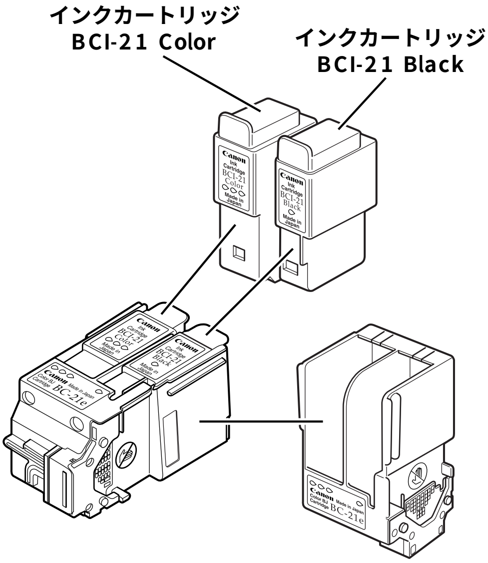
印刷やスキャン（画像の読取り）を行うには、カートリッジホルダにカートリッジが取り付けられていなくてはなりません。
印刷にはBJカートリッジ、スキャンにはスキャナカートリッジを使用します。

参考

プリントヘッドとは
細いノズルからインクを用紙に吹き付ける部分です。乾燥したり、汚れると、ノズルがつまり、インクが出なくなります。

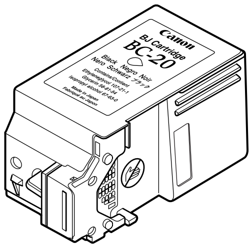
カラーBJカートリッジ　BC-21e

ビジネスグラフや一般的なカラー文書の印刷に適しています。
3色（シアン、マゼンタ、イエロー）のカラーインクと、ブラックインクが入っています。プリントヘッドとインクカートリッジが分離した構造になっていますので、インクがなくなったらインクカートリッジのみを交換できます。



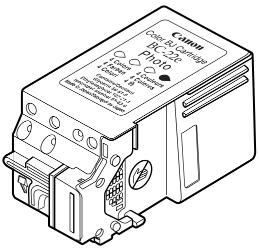
ブラックBJカートリッジ　BC-20

モノクロ文書を普通紙に印刷するのに適しています。
プリントヘッドとインクカートリッジが一体化した構造になっていますので、インクがなくなったら新しいBJカートリッジに交換します。

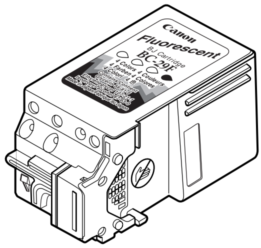


フォトBJカートリッジ　BC-22eフォト

写真画像の印刷に適しています。
プリントヘッドとインクカートリッジが一体化した構造になっていますので、インクがなくなったら新しいBJカートリッジに交換します。

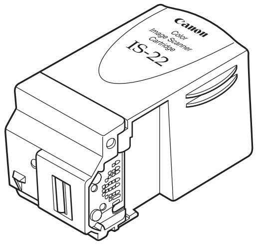


蛍光BJカートリッジ　BC-29F



発色に富んだ蛍光色のカラー印刷が行えます。最良の印刷品質を得るには、高品位専用紙に印刷することをお勧めします。
プリントヘッドとインクカートリッジが一体化した構造になっていますので、インクがなくなったら新しいBJカートリッジに交換します。

カラーイメージスキャナカートリッジ　IS-22



画像を読み取るためのレンズが付いています。
BJカートリッジの代わりにカラーイメージスキャナカートリッジを取り付けると、本機をスキャナとして使用することができます。
➡「スキャナとして使うには」（23ページ）

注意

BJカートリッジは、安全のため、お子様の手の届かないところへ保管してください。
誤ってインクをなめたり飲んだりした場合は、ただちに医師にご相談ください。

禁止

使い切ったインクカートリッジをBJカートリッジに取り付けたままの状態で放置しないでください。また、インクカートリッジをBJカートリッジから取りはずした状態で放置しないでください。
放置したあと、インクカートリッジをセットしても、印刷できない場合があります。
➡「インクカートリッジを交換する」（24ページ）

参考

最適な印字品位を保つため、開封後は、BJカートリッジは１年、インクカートリッジは６ヶ月で使い切るようにしてください。

参考　使用済みBJカートリッジ回収のお願い

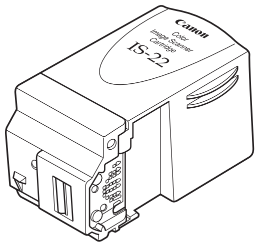
キヤノンでは、資源の再利用のために、使用済みBJカートリッジ、インクカートリッジの回収を推進しています。この回収活動は、お客様のご協力によって成り立っております。
つきましては、キヤノンの“環境保全と資源の有効活用”の主旨にご賛同いただければ、お手数ではございますが、ご使用済みとなったBJカートリッジ、インクカートリッジを、右記マークのある販売店または最寄りのキヤノン販売営業拠点までお持ちいただければ幸いと存じます。

Canon
キヤノン製カートリッジ
回収協力店

スキャナとして使うには…

このプリンタは、カラーイメージスキャナカートリッジIS-22を取り付けると、スキャナとして使うことができます。
スキャナとして使う場合は、以下の点にご注意ください。

●別売のカラーイメージスキャナカートリッジIS-22（以降、スキャナカートリッジと略します）が必要です。別途ご購入ください。



●スキャナとして使う前に、スキャナドライバIS Scanをインストールする必要があります。
スキャナドライバは、プリンタドライバとは別のものです。スキャナドライバがインストールされていないと、スキャナとして使用することはできません。

禁止

スキャナカートリッジのパッケージに同梱されているスキャナドライバをインストールしないでください。
スキャナドライバは、プリンタに同梱されている、プリンタドライバ/リファレンスガイド（CD-ROM）に入っているものをインストールしてください。

スキャナドライバのインストールのしかたは、『かんたんスタートガイド』をご覧ください。

●スキャナとして使う場合の操作方法は、プリンタに同梱されている『リファレンスガイド』（CD-ROM）をご覧ください。
『リファレンスガイド』（CD-ROM）の以下の章に説明があります。

・「プリンタ活用編」の「スキャナを使うには」
　スキャナとして使うための操作全般について説明しています。
・「トラブル解決/アドバイス編」の「困ったときには－スキャナのトラブル」
　スキャナとして使っていて、問題が発生して困ったときには、こちらをご覧ください。
・「ドライバ解説編」の「スキャナドライバ」「スキャナ用アプリケーションソフト」
　スキャナドライバの使いかたについて説明しています。
　Windowsをお使いの方は「Windowsドライバガイド」、Macintoshをお使いの方は「Macintoshドライバガイド」の章に記載されている説明をご覧ください。

参考

スキャナカートリッジのパッケージに同梱されている、スキャナの使用説明書は、このプリンタ用に書かれたものではありません。プリンタに同梱されている『リファレンスガイド』（CD-ROM）をご覧ください。

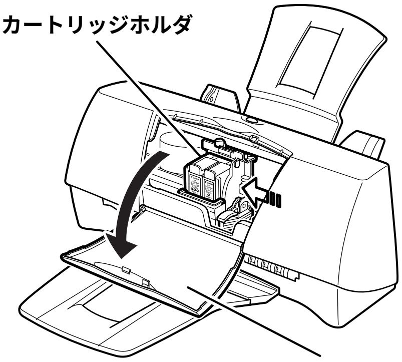
インクカートリッジを交換する

カラーBJカートリッジのインクがなくなったとき、次の手順にしたがってインクカートリッジを交換します。
インクカートリッジの型番はBCI-21 ColorおよびBCI-21 Blackです。
ブラックBJカートリッジ、フォトBJカートリッジ、蛍光BJカートリッジのインクがなくなった場合は、BJカートリッジを交換してください。
インクカートリッジの交換のめやすは、28ページを参照してください。

➡「BJカートリッジを交換する」（26ページ）

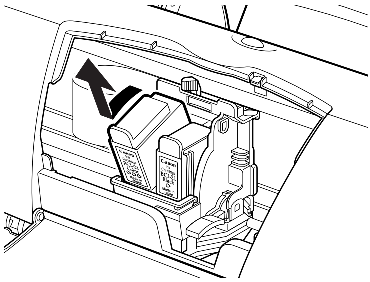
1 プリンタの電源プラグがコンセントに差し込まれていることを確認し、フロントカバーを開ける。

カートリッジホルダが中央へ移動します。



2 インクのなくなったインクカートリッジの上部を手前に引くようにして、インクカートリッジを取りはずす。

BJカートリッジのプリントヘッド部分は取り付けたままにします。



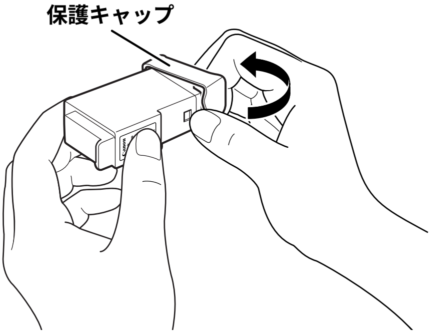
注意

インクカートリッジを落としたり振ったりしないでください。
インクが漏れて周囲や衣服を汚すことがあります。

参考

使用済みのインクカートリッジは、回収のご協力をお願いします。
（22ページ）
捨てる場合は、地域の条例にしたがってください。

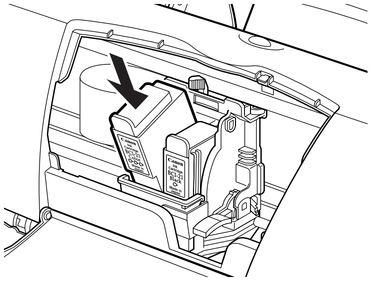
3 新しいインクカートリッジを袋から取り出し、オレンジ色の保護キャップを取りはずす。



禁止

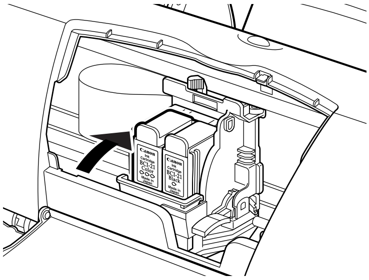
- はずした保護キャップは再装着しないでください。
  地域の条例にしたがって捨ててください。
- 保護キャップを取りはずすと出てくる、インク出口には手を触れないでください。
  インクが正しく供給されなくなる場合があります。

4 新しいインクカートリッジをカートリッジホルダに斜めに差し込む。



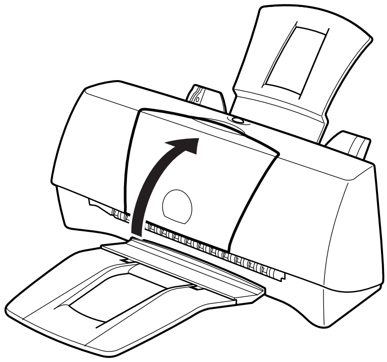
5 インクカートリッジ上部を押して固定する。

「カチッ」と音がするまで、しっかりと押してください。



6 フロントカバーを閉める。

カートリッジホルダが右側へ移動し、自動的にプリントヘッドのクリーニングを始めます。
動作音がしなくなるまでほかの操作を行わないでください。



参考

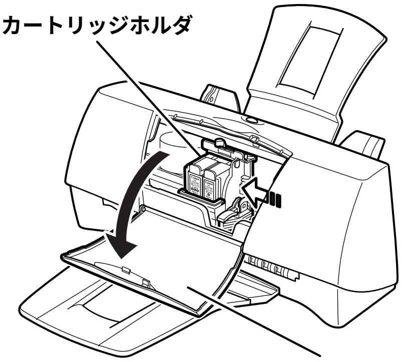
インクカートリッジ交換後、印刷がかすれる場合には、プリントヘッドをクリーニングしてください。
➡「プリントヘッドをクリーニングする」（31ページ）

BJカートリッジを交換する

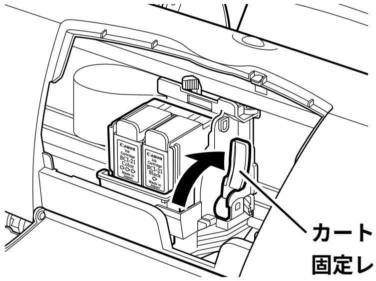
ブラックBJカートリッジ、フォトBJカートリッジまたは蛍光BJカートリッジのインクがなくなった場合や、別のBJカートリッジに付け替えたい場合は、以下の手順で新しいBJカートリッジに交換してください。
BJカートリッジの交換のめやすは、**28ページを参照してください。**

1 **プリンタの電源プラグがコンセントに差し込まれていることを確認し、フロントカバーを開ける。**

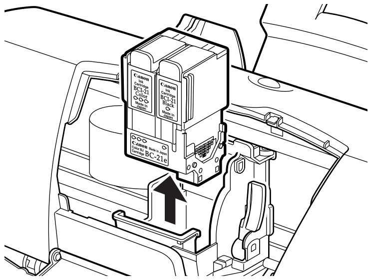
カートリッジホルダが中央へ移動します。



2 **カートリッジ固定レバーを上げる。**



3 **インクカートリッジが入ったまま、BJカートリッジを持ち上げて取り出す。**

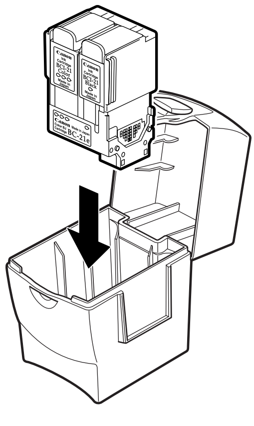


注意

BJカートリッジを落としたり振ったりしないでください。
インクが漏れて周囲や衣服を汚すことがあります。

参考

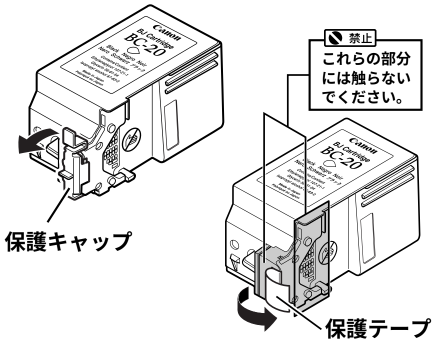
- 使用済みのBJカートリッジは、回収のご協力をお願いします（22ページ）。捨てるときは、地域の条例にしたがってください。
- BJカートリッジの取付け後は、やむを得ない場合以外は絶対に取りはずさないでください。BJカートリッジを取りはずす必要がある場合は、BJカートリッジ保管箱（SB-21）を使用して、プリントヘッドが乾燥しないようにしてください。



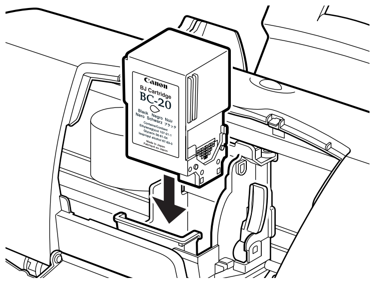
4 新しいBJカートリッジをパッケージから取り出し、オレンジ色の保護キャップと、保護テープを取りはずす。

⚠ 注意

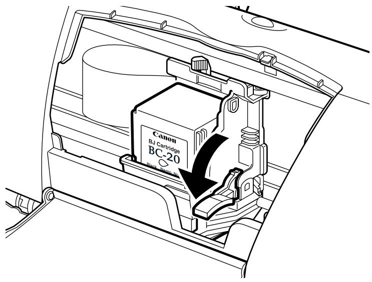
はずした保護キャップと保護テープは再装着できません。
地域の条例にしたがって捨ててください。



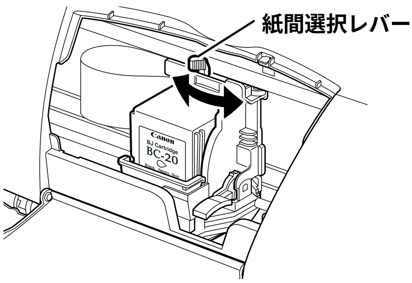
5 BJカートリッジをカートリッジホルダに差し込む。



6 カートリッジ固定レバーを、止まるまでしっかりと下げる。



7 紙間選択レバーを、印刷する用紙に合った位置にセットする。



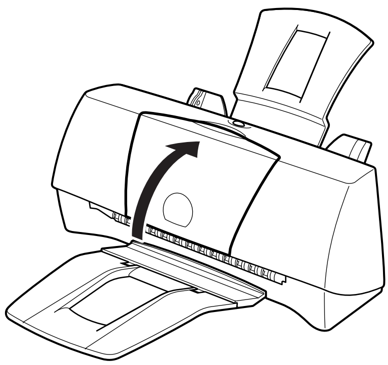
封筒またはバナー紙に印刷する場合は、右にセットします。
その他の用紙に印刷する場合は、左にセットします。

8 フロントカバーを閉める。

カートリッジホルダが右側へ移動し、自動的にプリントヘッドのクリーニングを始めます。
動作音がしなくなるまでほかの操作を行わないでください。

参考

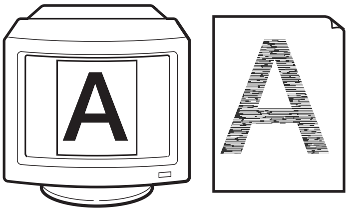
BJカートリッジ交換後、印刷がかすれる場合には、プリントヘッドをクリーニングしてください。
➡「プリントヘッドをクリーニングする」（31ページ）



お手入れ

この章ではBJカートリッジに関するお手入れを中心に説明します。また、プリンタを長持ちさせるために、清掃のしかた（33ページ）も説明します。

■印刷結果がかすれたり、色味が正しく印刷されないときは



インクがなくなっているか、プリントヘッドのノズルの目づまりや、プリントヘッドの消耗が考えられます。以下の順番でメンテナンスを行ってください。必要なメンテナンスの操作については記載ページを参照してください。

ノズルチェックパターンの印刷→P.29,30

↓ パターンが正常に印刷されない場合

プリントヘッドのクリーニング→P.31

ブラックBJカートリッジ
フォトBJカートリッジ
蛍光BJカートリッジ

↓ 改善されない場合

BJカートリッジの交換→P.26

カラーBJカートリッジ

↓ 改善されない場合

インクカートリッジの交換→P.24

↓ 改善されない場合

BJカートリッジの交換→P.26

ノズルチェックパターンを印刷する Windows

プリントヘッドのノズルから正常に各色のインクが出ているか、ノズルチェックパターンを印刷して確認します。印刷結果がかすれていたり、色味がおかしいときに行ってください。

参考

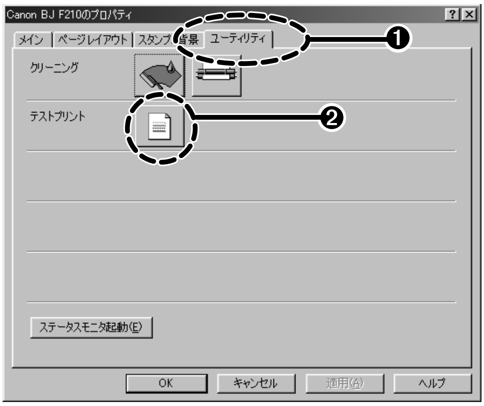
ノズルチェックパターンの印刷はプリンタ本体からも実行できます。用紙をセットして、リセットボタンをすばやく続けて2回押してください。

1

電源が入っていることを確認し、A4サイズの普通紙を1枚以上、縦置きにセットする。

2

プリンタドライバから[ノズルチェックパターン]を選択する。



❶ 設定画面を開く。

➡「Windowsで印刷してみよう」（10ページ）

[ユーティリティ]タブをクリックして、[ユーティリティ]シートを開く。

❷ [ノズルチェックパターン]をクリックする。

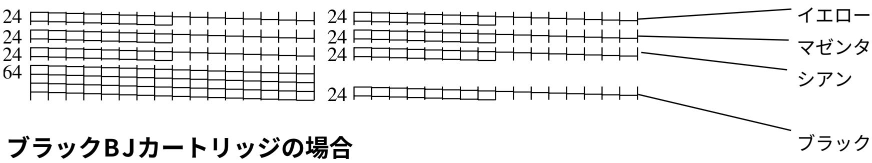
❸ [OK]をクリックする。



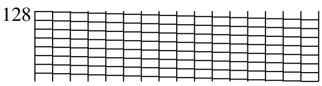
3

印刷されたノズルチェックパターンを見て、各BJカートリッジのノズルの状態を確認する。

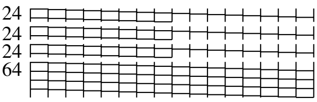
カラーBJカートリッジ/フォトBJカートリッジの場合



ブラックBJカートリッジの場合



蛍光BJカートリッジの場合



パターンの一部が欠けていたりかすれている場合は、プリントヘッドをクリーニングしてください。

➡「プリントヘッドをクリーニングする」（31ページ）

ノズルチェックパターンを印刷する **Macintosh**

プリントヘッドのノズルから正常に各色のインクが出ているか、ノズルチェックパターンを印刷して確認します。印刷結果がかすれていたり、色味がおかしいときに行ってください。

参考

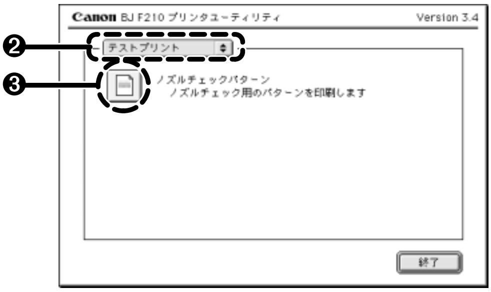
ノズルチェックパターンの印刷はプリンタ本体からも実行できます。用紙をセットして、リセットボタンをすばやく続けて2回押してください。

1 電源が入っていることを確認し、A4サイズの普通紙を1枚以上、縦置きにセットする。

2 プリンタドライバから[ノズルチェックパターン]を選択する。

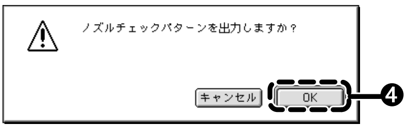


❶ 用紙設定ダイアログを開く。
➡「用紙設定のしかた」（15ページ）
[ユーティリティ]ボタンをクリックして、プリンタユーティリティダイアログを開く。



❷ メニューから[テストプリント]を選択する。

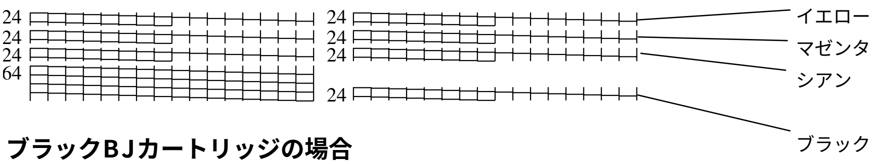
❸ [ノズルチェックパターン]をクリックする。



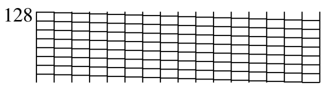
❹ [OK]をクリックする。

3 印刷されたノズルチェックパターンを見て、各BJカートリッジのノズルの状態を確認する。

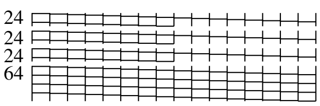
カラーBJカートリッジ/フォトBJカートリッジの場合



ブラックBJカートリッジの場合



蛍光BJカートリッジの場合



パターンの一部が欠けていたりかすれている場合は、プリントヘッドをクリーニングしてください。

➡「プリントヘッドをクリーニングする」（32ページ）

プリントヘッドをクリーニングする

プリントヘッドをクリーニングすると、ヘッドのノズルのつまりを取ることができます。

禁止

不必要なクリーニングは避けてください。クリーニングを行うとインクを消耗します。

参考

プリントヘッドのクリーニングはプリンタ本体からも実行できます（ただし、この方法はプリンタをリセットしますので、印刷のデータが記憶されていた場合は消去されます）。
リセットボタンを2秒以上押し続けてから離してください。

1. クリーニングを行う

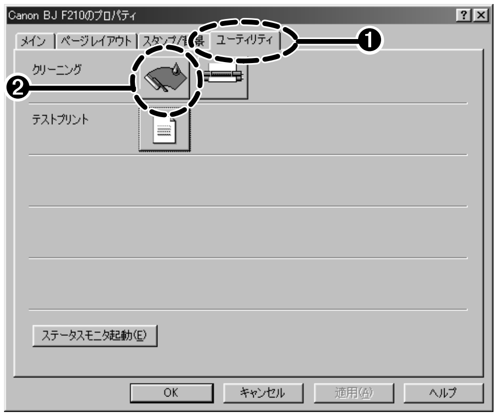
Windows

1 電源が入っていることを確認する。

2 プリンタドライバから[クリーニング]を選択する。

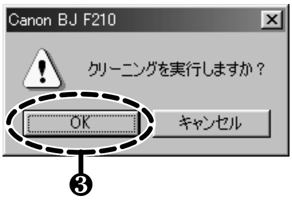
❶ 設定画面を開く。
➡「Windowsで印刷してみよう」（10ページ）
[ユーティリティ]タブをクリックして、[ユーティリティ]シートを開く。

❷ [クリーニング]をクリックする。



❸ [OK]をクリックする。

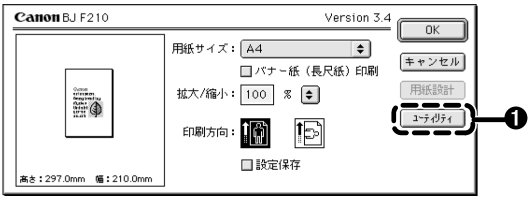
クリーニング動作を始めます。終了するまで30秒前後かかりますので、しばらくお待ちください。



Macintosh

1 電源が入っていることを確認する。

2 プリンタドライバから[クリーニング]を選択する。

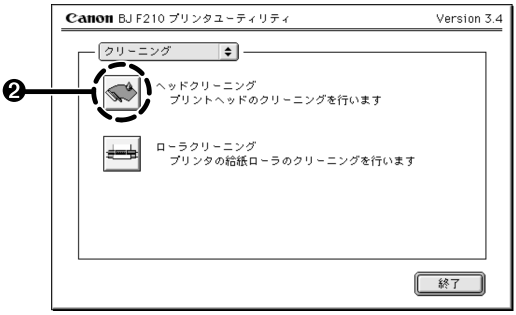


❶ 用紙設定ダイアログを開く。

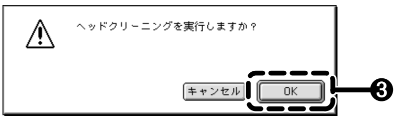
➡「用紙設定のしかた」（15ページ）

[ユーティリティ]ボタンをクリックして、プリンタユーティリティダイアログを開く。

❷ [ヘッドクリーニング]をクリックする。



❸ [OK]をクリックする。



クリーニング動作を始めます。終了するまで30秒前後かかりますので、しばらくお待ちください。

2.ノズルチェックパターンを印刷し、クリーニングの効果を確認する（Windows：29ページ、Macintosh：30ページ）

効果がない場合は、再度、クリーニングの操作を行ってください。5回繰り返しても効果がない場合は、インクがなくなっているか、BJカートリッジが消耗している場合があります。

交換のしかた

- カラーBJカートリッジを使用している場合
  ➡インクカートリッジを交換する（24ページ）
- ブラックBJカートリッジ、フォトBJカートリッジ、蛍光BJカートリッジを使用している場合
  ➡BJカートリッジを交換する（26ページ）

プリンタを清掃する

印刷した枚数が多くなると、プリンタの内部がインクや紙粉で汚れてきます。汚れが目立ったら、次の手順にしたがってプリンタを清掃してください。

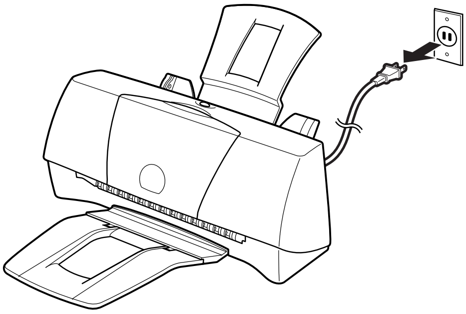
1 電源プラグをコンセントから抜く。

禁止

電源プラグを抜くときは、給紙や排紙、印刷、プリントヘッドのクリーニングなどのプリンタの動作が終わってから1分間以上待ってください。

注意

清掃するときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
電源プラグが差し込まれたままになっていると、作動した内部の部品に触れてけがの原因になることがあります。

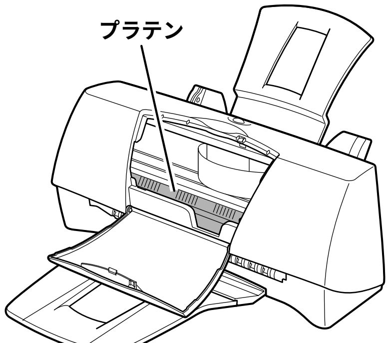


2 フロントカバーを開けて、プリンタの内部を乾いた布でふく。

飛び散ったインク、紙粉、ホコリがないことを確認してください。特にプラテンのあたりをよく見てください。カートリッジホルダなどのプリンタ内部の部品には触らないでください。

注意

シンナー、ベンジン、アルコールなどの引火性溶剤を使わないでください。
プリンタ内部の電気部品に接触すると、火災や感電の原因になることがあります。



高品位専用紙 HR-101Sなどを使用したとき、給紙ローラを清掃する

表面に特殊加工をした用紙、はがき、高品位専用紙などを多く使用すると、プリンタ内部に紙粉がたまり、用紙が正しく送られなくなることがあります。このような場合はクリーニングシートを使って、内部の給紙ローラの清掃を行ってください。

➡ CD-ROM「給紙ローラのクリーニング」

お手入れ

困ったときには

**プリンタを使用中に問題が発生して困ったときは、以下の項目を参照してトラブルを解決してみてください。本書には起こりやすいトラブルだけを症状別に記載しています。
ここで見つからない場合は、『リファレンスガイド』（CD-ROM）をご覧ください。**

プリンタドライバがインストールできない →P35

用紙がつまった →P36

オートシートフィーダから用紙が送られない →P37

画面にメッセージが表示されている

■「LPT1への書き込みエラー」または「USBPRNへの書き込みエラー」が表示されて印刷できない Windows →P38
■「アプリケーションエラー」や「一般保護違反」が表示されて印刷できない Windows →P39
■「エラー番号：＊300（＊は英文字)」が表示されて印刷できない Macintosh →P40
■「エラー番号：＊202（＊は英文字)」が表示されて印刷できない Macintosh →P40
■「エラー番号：＊203（＊は英文字)」が表示されて印刷できない Macintosh →P40

印刷が途中で止まってしまう →P41

印刷結果に満足できない

■印刷がかすれる／違う色になる→P42
■文書の最後まで印刷できない→P42
■印刷面がこすれる→P44
■画面の色と印刷した色合いが違う→P44
■印刷した用紙がカールする／反り返る／波打ったようになる→P45

その他のトラブル

『リファレンスガイド』（CD-ROM）には、その他のトラブルと対処方法も記載されています。→P45

エラーが発生したときは



Windows

印刷中に用紙切れや、紙づまりなどのトラブルが発生すると、自動的にBJステータスモニタが表示されます。
BJステータスモニタは、印刷中のプリンタの状態や進行状況をメッセージや絵で表示するアプリケーションソフトです。

1. メッセージや絵を見て、発生しているエラーの状況を確認する。
2. [ガイド]タブをクリックし、表示されるメッセージに従って対処を行う。
   エラーから回復すると、印刷が再開されます。

プリンタドライバがインストールできない

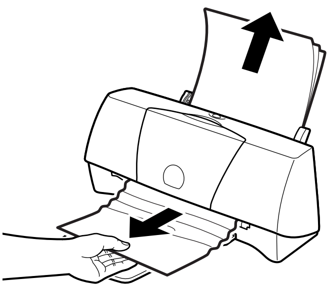
原因	対処方法
インストールを途中でやめてしまった。	➡ Windows 98のUSBインタフェースに接続する場合は、USBドライバの設定を確認して、不要なUSBドライバがあれば削除する。 詳しくは、同梱されている『Windows 98のUSBインタフェースで、ドライバのインストールができないときは』をご覧ください。 『かんたんスタートガイド』に記載されている手順にしたがってインストールする。やり直す場合は、プリンタドライバを削除し、もう一度インストールする。 〈削除の方法〉 **Windows** [スタート]メニューから[プログラム]の[BJ ラスタプリンタ]を選択し、[アンインストーラ]をクリックします。以降は画面の指示にしたがってください。 **参考** エラーが発生してインストーラが強制終了した場合は、Windowsが不安定な状態のためインストールできない場合があります。Windowsを再起動して再インストールしてください。 **Macintosh** 『プリンタドライバ／リファレンスガイド』（CD-ROM）をセットします。しばらくすると、CD-ROMのフォルダが自動的に開きます。[プリンタドライバ]フォルダ、[BJインストーラ]アイコンの順にダブルクリックし、プリンタを選択します。表示される[BJ F210書類] 画面で、[カスタム削除]タブをクリックします。以降は画面の指示にしたがってください。
ほかのアプリケーションソフトを起動している。	➡ ほかのアプリケーションソフトをすべて終了し、もう一度インストールする。
インストール用CD-ROMドライブが正しく指定されていない。	➡ **Windows** [マイ コンピュータ]のアイコンをダブルクリックし、開いたウィンドウにあるCD-ROMのアイコンをダブルクリックする。以降は『かんたんスタートガイド』をご覧になり、インストールを行ってください。 **Macintosh** 画面上に表示されたCD-ROMのアイコンをダブルクリックする。以降は『かんたんスタートガイド』をご覧になり、インストールを行ってください。

原因		対処方法
（Windows 98のUSBインタフェースに接続する場合）USBドライバが正しくインストールされていない。	➡	不要なUSBドライバを削除する。 詳しくは、同梱されている『Windows 98のUSBインタフェースで、ドライバのインストールができないときは』をご覧ください。
インストール用CD-ROMに異常がある。	➡	Windows Windows 98/Windows 95の[エクスプローラ]でCD-ROMが読めるか確認する。 Macintosh CD-ROMをセットしたときに、画面にCD-ROMのアイコンが表示されるかどうか確認する。 CD-ROMの内容が読めない場合は、ご相談窓口にお問い合わせください。

用紙がつまった

対処方法：つまった用紙の取り除きかた

- 排紙側または給紙側から引き出しやすいほうに用紙をゆっくり引っ張って取り除きます。



- 用紙が破れてプリンタ内部に残った場合は、電源プラグをコンセントから抜いてからフロントカバーを開け、破れた用紙を取り除きます。

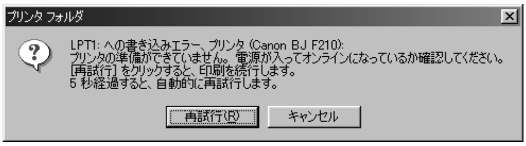
オートシートフィーダから用紙が送られない

原因		対処方法
普通紙で、厚すぎる用紙を使っている。	➡	重さが105g/m²以下の用紙をセットする。 重さ105g/m²を超える用紙は使用できません。
セットした用紙の枚数が多すぎる。	➡	「オートシートフィーダ積載枚数」（46ページ）に書かれた範囲を超えないように用紙をセットする。 記載された積載枚数以上用紙をセットすると、正常に給紙できなくなります。
用紙サポートを取り付けていない。	➡	用紙サポートを取り付ける。 用紙サポートを取り付けていないと、用紙が正しく給紙されません。
折れたり、反りのある用紙を使っている。	➡	「用紙についてのご注意」（19ページ）を読んで正しい用紙を使用する。 折れたり、反りのある用紙は正常に給紙されないばかりでなく、つまる原因になります。
OHPフィルム、バックプリントフィルム、またはフォト光沢紙を使用している。	➡	用紙の下に、正常に給紙するための紙を敷いてから、オートシートフィーダにセットする。 これらの用紙に印刷する場合、最後の1枚がうまく給紙されないことがあります。 以下の紙を下に敷いて、セットし直してください。 OHPフィルム／バックプリントフィルム➡同じ大きさの普通紙 フォト光沢紙➡フォト光沢紙のパッケージに入っている、給紙補助シート（B）

画面にメッセージが表示されている

■「LPT1への書き込みエラー」または「USBPRNへの書き込みエラー」が表示されて印刷できない Windows

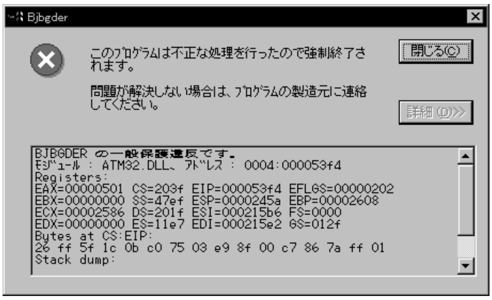
（例）



原因		対処方法
プリンタの電源が入っていない。	➡	プリンタの電源コードが、プリンタの背面およびコンセントに接続されていることを確認する。
プリンタとコンピュータがケーブルで正しく接続されていない。	➡	電源コードやケーブルをしっかりと接続する。 同梱の『かんたんスタートガイド』をご覧ください。
ケーブルの異常。	➡	別のケーブルに交換する。 ケーブルの異常については、販売元にご相談ください。
切替え器や外付けバッファ、またはUSBハブの異常。	➡	切替え器や外付けバッファ、またはUSBハブをはずし、プリンタとコンピュータを直接つないで印刷する。 正常に印刷される場合、切替え器や外付けバッファ、またはUSBハブの異常が考えられます。販売元にご相談ください。
スプールの設定が正常に動作していない。	➡	スプールの設定を変更する。 プリンタドライバの設定画面を開き、[詳細]シートの[スプールの設定]をクリックし、[プリンタに直接印刷データを送る]を選択します。
プリンタポートの異常。	➡	プリンタポートの状態を確認する。 確認の方法は『リファレンスガイド』（CD-ROM）をご覧ください。
プリンタドライバのプリンタポートの設定と、実際に接続されているインタフェースが異なっている。	➡	Windowsを終了し、プリンタの電源を切ってから、プリンタドライバで設定されているインタフェースで接続し直す。または、接続されたインタフェースのプリンタドライバをインストールする。 〈ポート設定の確認方法〉プリンタドライバの設定画面を開きます。[詳細]シートの[印刷先のポート]に[LPT1:(ECPプリンタポート)]と表示されればパラレルポート、[USBPRN nn(Canon BJ F210)](nnには数字が表示されます）と表示されればUSBポートが設定されています。
インストールされているプリンタドライバに問題がある。	➡	プリンタドライバを削除し、もう一度インストールする。 〈削除の方法〉 [スタート]から[プログラム]の[BJラスタプリンタ]を選択し、[アンインストーラ]をクリックします。以降は画面の指示にしたがってください。 USBインタフェースに接続している場合は、『Windows 98のUSBインタフェースで、ドライバのインストールができないときは』に記載されている操作も行ってください。

原因		対処方法
コンピュータにWPS（Windows Printing System）ドライバがインストールされている。	➡	WPSドライバのポートを[FILE]に変更するか、WPSドライバを削除する。 〈方法〉ポートを変更するには、WPSドライバの設定画面を開き、[詳細]シートの[印刷先のポート]で[FILE]を選択します。 ドライバを削除するには、[スタート]から[プログラム]の[Windows Printing System]を選択し、[アンインストール]をクリックします。以降は画面の指示にしたがってください。

■「アプリケーションエラー」や「一般保護違反」が表示されて印刷できない Windows



原因		対処方法
Windows 98またはWindows 95で、Windows 3.1用のアプリケーションソフトから印刷している。	➡	Windows 98/Windows 95用のアプリケーションソフトで印刷する。
複数のアプリケーションソフトを起動している。	➡	ほかのアプリケーションソフトをすべて終了し、もう一度印刷する。
アプリケーションソフトに必要なメモリ容量が確保されていない。	➡	アプリケーションソフトの取扱説明書を参照し、必要なメモリ容量が確保されているかを確認する。 不足している場合は、メモリを増設してください。増設については、コンピュータの取扱説明書をご覧ください。
ハードディスクの空き容量が不十分。	➡	不要なファイルを削除し、空き容量を増やす。
印刷した文書ファイル、またはファイルに使用されている機能に問題がある。	➡	同じ文書を新しく作り直して印刷する。 新しい文書で問題がなければ、元の文書ファイルに問題があったと考えられます。新しい文書でも同じ症状がある場合は、ご相談窓口にお問い合わせください。
インストールされているプリンタドライバに問題がある。	➡	プリンタドライバを削除し、もう一度インストールする。 〈削除の方法〉 [スタート]から[プログラム]の[BJラスタプリンタ]を選択し、[アンインストーラ]をクリックします。以降は画面の指示にしたがってください。 USBインタフェースに接続している場合は、『Windows 98のUSBインタフェースで、ドライバのインストールができないときは』に記載されている操作も行ってください。

■「エラー番号：＊300（＊は英文字)」が表示されて印刷できない Macintosh

原因		対処方法
プリンタの電源が入っていない。	➡	プリンタの電源コードが、プリンタの背面およびコンセントに接続されていることを確認する。
プリンタとコンピュータがケーブルで正しく接続されていない。	➡	電源コードやケーブルをしっかりと接続する。 同梱の『かんたんスタートガイド』をご覧ください。
ケーブルの異常。	➡	別のケーブルに交換する。 ケーブルの異常については、販売元にご相談ください。
USBハブの異常。	➡	USBハブをはずし、プリンタとコンピュータを直接つないで印刷する。 正常に印刷される場合、USBハブの異常が考えられます。販売元にご相談ください。
[セレクタ]が正しく設定されていない。	➡	セレクタの設定を確認する。 アップルメニューから、[セレクタ]を選択します。[BJ F210]のアイコンをクリックして、[接続先]に[BJ F210 n（nには数字が表示されます）]が選択されていることを確認します。選択されていない場合は、選択してください。

以上の対処方法にしたがって操作しても解決しない場合は、不必要な機能拡張書類やコントロールパネル書類をはずして印刷してみてください。

■「エラー番号：＊202（＊は英文字)」が表示されて印刷できない Macintosh

原因		対処方法
アプリケーションソフトに必要なメモリ容量が確保されていない。	➡	アプリケーションソフトの取扱説明書を参照し、必要なメモリ容量が確保されているかを確認する。 不足している場合は、メモリを増設してください。増設についてはコンピュータの取扱説明書をご覧ください。

■「エラー番号：＊203（＊は英文字)」が表示されて印刷できない Macintosh

原因		対処方法
インストールされているプリンタドライバに問題がある。	➡	プリンタドライバを削除し、もう一度インストールする。 〈削除の方法〉 『プリンタドライバ／リファレンスガイド』（CD-ROM）をセットします。しばらくすると、CD-ROMのフォルダが自動的に開きます。[プリンタドライバ]フォルダ、[BJインストーラ]アイコンの順にダブルクリックし、プリンタを選択します。表示される[BJ F210書類]画面で、[カスタム削除]タブをクリックします。以降は画面の指示にしたがってください。

印刷が途中で止まってしまう

原因		対処方法
高精細な絵や写真を印刷している。	➡	コンピュータの画面上のBJステータスモニタ（Windowsの場合）またはBJプリントモニタ（Macintoshの場合）で印刷の進行状況を確認し、印刷が終わるまで待つ。 このようなデータは容量が多いため、処理に時間がかかり、止まったように見えます。
長時間連続して印刷したためプリントヘッドが過熱している。	➡	区切りのいいところで印刷を中断し、プリンタの電源を切って冷えるまで（15分以上）待つ。 過熱したプリントヘッドを保護するため、行の折り返し位置で印刷が一時的に停止しますが、待っていると印刷が再開されます。 **⚠ 注意** 過熱したプリントヘッドの周辺には絶対に触らないでください。高温になっています。

困ったときには

印刷結果に満足できない

■印刷がかすれる／違う色になる

原因		対処方法
BJカートリッジのプリントヘッドが目づまりしているか、インクがなくなっている。	➡	ノズルチェックパターンを印刷して、プリントヘッドの状態を確認する。（Windows：29ページ、Macintosh：30ページ） ノズルチェックパターンが正しく印刷されない場合は、プリントヘッドをクリーニングする。（Windows：31ページ、Macintosh：32ページ）
一度はずしたオレンジ色の保護キャップや保護テープをプリントヘッドに再び取り付けた。	➡	保護キャップや保護テープをはずしてBJカートリッジをセットし、プリントヘッドをクリーニングする。 ➡「BJカートリッジを交換する」（26ページ） ➡「プリントヘッドをクリーニングする」（31ページ）
用紙の表裏を間違えて、印刷に適さない面に印刷した。	➡	用紙の表裏を確認し、印刷に適した面に印刷されるように用紙をセットする。 ➡ CD-ROM「いろいろな用紙に印刷するには」

■文書の最後まで印刷できない

原因		対処方法
アプリケーションソフトやプリンタドライバで設定されている用紙サイズと、印刷した用紙のサイズが異なる。	➡	・プリンタドライバの[用紙サイズ]を、印刷する用紙サイズと同じ設定にする。 ・用紙サイズを指定できるアプリケーションソフトを使っている場合、[用紙サイズ]の設定を、プリンタドライバの[用紙サイズ]と同じ設定にする。

原因		対処方法
プリンタとコンピュータがケーブルでしっかりと接続されていない。	➡	電源コードやケーブルをしっかりと接続する。 同梱の『かんたんスタートガイド』をご覧ください。
ケーブルの異常。	➡	別のケーブルに交換する。 同梱の『かんたんスタートガイド』をご覧ください。 ケーブルの異常については、販売元にご相談ください。
切替え器や外付けバッファの異常。 Windows	➡	切替え器や外付けバッファをはずし、プリンタとコンピュータを直接つないで印刷する。 正常に印刷される場合、切替え器や外付けバッファの異常が考えられます。販売元にご相談ください。
USBハブの異常。	➡	USBハブをはずし、プリンタとコンピュータを直接つないで印刷する。 正常に印刷される場合、USBハブの異常が考えられます。販売元にご確認ください。
コンピュータにWPS（Windows Printing System）ドライバがインストールされている。 Windows	➡	WPSドライバのポートを[FILE]に変更するか、WPSドライバを削除する。 〈方法〉 ポートを変更するには、WPSドライバの設定画面を開き、[詳細]シートの[印刷先のポート]で[FILE]を選択します。 ドライバを削除するには、[スタート]から[プログラム]の[Windows Printing System]を選択し、[アンインストール]をクリックします。以降は画面の指示にしたがってください。

■印刷面がこすれる

原因		対処方法
紙間選択レバーが、セットした用紙に合わせて正しくセットされていない。	➡	使用する用紙の種類に合わせて、紙間選択レバーをセットする。 ➡ CD-ROM「いろいろな用紙に印刷するには」 普通紙の場合も、印刷面がこすれるときは紙間選択レバーを右（ ）にセットしてみてください。

紙間選択レバーの設定が正しい場合は、ほかの原因が考えられます。『リファレンスガイド』（CD-ROM）をご覧になり、対処してください。

➡ CD-ROM「困ったときには－印刷結果に満足できない」

■画面の色と印刷した色合いが違う

ディスプレイとプリンタでは発色方法が異なります。また、ディスプレイを見ている環境や色の調整によっても発色が異なるため、色合いは完全に同じにはなりません。例えば、ディスプレイでは青に見えるものが紫に、黄緑に見えるものが深緑に印刷されます。しかし、極端に異なる場合は次の項目を確認してください。

原因		対処方法
BJカートリッジのプリントヘッドが目づまりしている、または特定のインクがなくなっている。	➡	ノズルチェックパターンを印刷して、プリントヘッドの状態を確認する。（Windows：29ページ、Macintosh：30ページ）
プリンタドライバで、印刷の設定が正しく行われていない。	➡	写真印刷の場合、[スーパーフォト]（Windowsの場合）または（写真）（Macintoshの場合）を選択するなど、印刷目的に合ったアイコンを選択する。また、[BJカートリッジ]、[用紙の種類]の設定が、実際に使用するものと合っているか確認する。（Windows：10ページ、Macintosh：14ページ）

■印刷した用紙がカールする／反り返る／波打ったようになる

原因	対処方法
薄い用紙を使用しているため、インクを十分に吸収できない。	➡ 印刷面にコーティング処理が施されている、高品位専用紙（HR-101S）を使用してみる。（20ページ）
濃度が高く設定されている。	➡ プリンタドライバで濃度を低く設定する。 〈方法〉 **Windows** プリンタドライバの設定画面を開き、[オートパレット詳細]をクリックして、[色設定]タブをクリックします。[濃度]のスライドバーを左側に設定して濃度を低くします。 **Macintosh** プリンタドライバの設定画面を開き、（マニュアル）アイコンをクリックし、[詳細設定]ボタンをクリックします。[カラー]アイコンをクリックし、[濃度]のスライドバーを左側に設定して濃度を低くします。

その他のトラブル

以下のトラブルと対処方法は『リファレンスガイド』（CD-ROM）をご覧ください。

- カラー原稿がモノクロになる
- カラーがきれいに印刷されない
- 画面と色合いが違う
- 画面と印刷結果が違う
- 90°回転してしまう
- 左上や右下にずれる／右側や下端が欠ける
- 左右反転した画像になる
- 拡大・縮小印刷がうまくできない
- ページにまたがる
- 罫線がずれる
- 用紙の裏が汚れる
- インクがにじむ
- 印刷面がこすれる
- 白い筋が入る
- 色むらや色筋がある
- 文字や図形がギザギザになる／グラデーションが帯状の模様になる **Macintosh**
- 電源が入らない
- 印刷が始まらない
- 動作はするが印刷されない
- カートリッジホルダが交換位置にない
- カートリッジホルダが右側に戻らない
- はがきや封筒がうまく送られない
- 用紙が斜めに送られる
- 用紙が何枚も重なって送られる
- その他のエラーメッセージ
  （『基本操作ガイド』で説明されているメッセージ以外のエラーメッセージが表示される）
- BJステータスモニタが表示されない
- バックグラウンド印刷ができない

- スキャナのトラブル
  （スキャナカートリッジをお使いの場合のトラブルと対処方法）

仕様

印刷方式
シリアルバブルジェット方式

印刷解像度
最高　720（横）×360（縦）dpi

印刷速度（弊社標準パターンにて測定）

ブラック印刷	高速：5ppm
	標準：4.3ppm
カラー印刷	高速：2ppm
	標準：1.5ppm

印刷方向　双方向

印字幅　最長　203.2mm

動作モード　キヤノン拡張モード

受信バッファ　54KB

インタフェース
IEEE 1284準拠パラレルインタフェース
USB1.10準拠USBインタフェース

インタフェースコネクタ
・パラレルインタフェース
　アンフェノール57 - 40360相当
・USBインタフェース
　USB規格 シリーズBレセプタクル

推奨プリンタケーブル
・パラレルインタフェース
　素材：AWG28以上
　タイプ：ツイストペアシールド付きケーブル
　長さ：最大 2.0m
　コネクタ：アンフェノール30360相当
・USBインタフェース
　素材：AWG28（データ線ペア）、AWG20〜28（配電ペア）
　タイプ：ツイストペアシールド付きケーブル
　長さ：最大 5.0m
　コネクタ：USB規格 シリーズBプラグ

動作音　約45dB（A）

動作環境
温度　5℃〜35℃
湿度　10%RH〜90%RH（ただし結露がないこと）

保存環境
温度　0℃〜35℃
湿度　5%RH〜90%RH（ただし結露がないこと）

電源　AC100V　50/60Hz

消費電力
約2W（待機時）　約18W（印刷時）

寸法
370mm（横）×191mm（奥行）×164mm（高さ）
（用紙サポート、排紙トレイを取りはずした状態）

質量　本体　約2.4kg
（用紙サポート、排紙トレイを取りはずした状態）

給紙方法

連続給紙（オートシートフィーダ）
普通紙、高品位専用紙、官製はがき、フォト光沢ハガキ、封筒、OHPフィルム、光沢フィルム、バックプリントフィルム、Tシャツ転写紙、バナー紙（長尺紙）、フォト光沢紙、フォト光沢カード

オートシートフィーダ積載枚数

普通紙 （64 g/m²のとき）	最大50枚
高品位専用紙	最大40枚
官製はがき	最大20枚
フォト光沢ハガキ	最大20枚
封筒	最大 5枚
OHPフィルム	最大20枚
バックプリントフィルム	最大10枚
フォト光沢紙	1枚
光沢フィルム	1枚
フォト光沢カード	1枚
バナー紙（長尺紙）	1枚
Tシャツ転写紙	1枚

使用できる用紙

サイズ（定型紙）：	A4、A5、A5横、B5、はがき、はがき横、 封筒（洋形4号、洋形6号） Letter、Legal
サイズ（非定型紙）：	最小　横100.0mm×縦100.0mm 最大　横241.3mm×縦584.2mm
重さ：	64 g/m²〜105 g/m²

一般的な用紙
普通紙
官製はがき
封筒　洋形４号、洋形６号

キヤノン製専用紙

カラーBJ用普通紙	LC-301
フォト光沢紙	GP-301
フォト光沢ハガキ	KH-201N
高品位専用紙	HR-101S
フォト光沢カード	FM-101
光沢フィルム	HG-101
OHPフィルム	CF-102
バックプリントフィルム	BF-102
バナー紙（長尺紙）	
Tシャツ転写紙	TR-201

グラフィックイメージ印刷

データ構成
キヤノン拡張モード　ラスタイメージフォーマット

解像度
キヤノン拡張モード　180、360、720dpi

使用できるBJカートリッジ

ブラックBJカートリッジ

正式名称	ブラックBJカートリッジBC-20
ノズル数	128
インク色	ブラック

印刷可能枚数　　約1,800枚（JEIDA標準パターンJ1を印刷した場合）

カラーBJカートリッジ

正式名称　　カラーBJカートリッジBC-21e
ノズル数　　カラー各色24、ブラック64
インクカートリッジと印刷可能枚数*
BCI-21ブラック：約550枚
BCI-21カラー（シアン、マゼンタ、イエロー）：約130枚
（ISO JIS-SCID No.5を印刷した場合）

フォトBJカートリッジ

正式名称　　カラーBJカートリッジBC-22eフォト
ノズル数　　カラー各色24、ブラック64
インク色　　ブラック、シアン、マゼンタ、イエロー
印刷可能枚数*　　約65枚（ISO JIS-SCID No.5を高品位専用紙に印刷した場合）
約80枚（ISO JIS-SCID No.5を普通紙に印刷した場合）

蛍光BJカートリッジ

正式名称　　蛍光BJカートリッジBC-29F
ノズル数　　カラー各色24、ブラック64
インク色　　シアン、ブラック、蛍光マゼンタ、蛍光イエロー
印刷可能枚数*　　約130枚（ISO JIS-SCID No.5を印刷した場合）
＊A4サイズに連続して印刷した場合をもとにインクタンクの印刷可能枚数を算出

プリンタドライバの動作環境

動作環境	必要な条件
コンピュータ本体	・Microsoft Windows 98日本語版、Microsoft Windows 95日本語版、Microsoft Windows NT4.0日本語版が動作するコンピュータ*（パラレルインタフェースまたはUSBインタフェースを持つDOS/V機およびNEC PC-9800シリーズ） ・USBインタフェースを標準搭載したMacintoshシリーズ
基本ソフトウェア	Microsoft Windows 98日本語版、Microsoft Windows 95日本語版、Microsoft Windows NT4.0日本語版、およびMac OS8.1（日本語版）以上
ハードディスク	インストール時に必要な容量はWindows 98、Windows 95の場合は約42MB、Windows NT4.0の場合は約25MB、Mac OSの場合は、約30MB（一時的に使用する領域を含む）

*BJステータスモニタを使うためには、双方向通信が可能なセントロニクスケーブルを使用してください。

参考

USBインタフェースに接続する場合は、以下の環境でお使いください。

- **Windows：Microsoft Windows 98（日本語版）がプレインストールされているコンピュータ（コンピュータメーカにより、USBポートの動作が保証されているもの）**
- **Macintosh：Mac OS 8.1（日本語版）以上がプレインストールされ、USBインタフェースを標準搭載したMacintoshシリーズ（ただし、Mac OS 8.1がインストールされているiMacの場合は、アップルコンピュータ株式会社のホームページで配布されている iMac アップデート1.0を使ってアップグレードされていなければなりません）**

参考

以下の条件ではBJステータスモニタは使用できません。

- **双方向通信機能に対応していないPC-9800シリーズの一部の機種（エプソン製の互換機を含む）**
- **本機をネットワークプリンタとして使用する場合**

参考

Microsoft Windows 98（英語版）、Microsoft Windows 95（英語版）、Microsoft Windows NT4.0（英語版）およびMac OS（英語版）での動作は保証しておりません。

印刷できる範囲

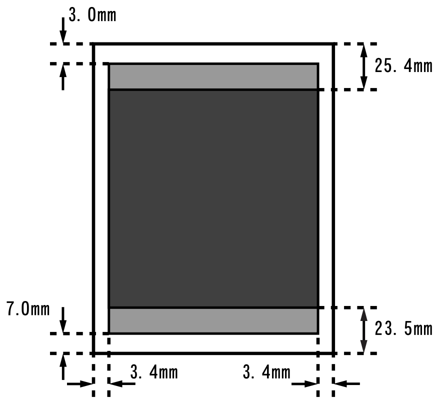
プリンタは印刷の品質を維持するため、用紙の上下左右に余白を設けています。実際に印刷できる範囲は、これらの余白を除いた部分となります。用紙サイズによって、印刷できる範囲が異なりますのでご注意ください。
ここでは、A5、A5横、A4、B5、はがき、はがき横の用紙について説明します。

他の大きさの用紙に印刷できる範囲

➡ CD-ROM「印刷できる範囲」

印刷できる範囲には印刷推奨領域と印刷可能領域があります。

印刷推奨領域……この範囲に印刷することをお勧めします（　　の部分）。
印刷可能領域……印刷できる範囲です。ただし、印刷の品位または用紙送りの精度が低下することがあります（　　の部分）。



印刷可能領域（幅×長さ）

	単位：mm
A5	141.2×200.0
A5横	203.2×138.0
A4	203.2×287.0
B5	175.2×247.0
はがき	93.2×138.0
はがき横	141.2×90.0

環境基本性能

消費電力	待機時電力：約2W
資源効率	本体質量：約2.4kg 本体寸法（W x D x H）：370×191×164mm 再生資源の使用：なし リサイクル：BJカートリッジ/インクタンク実施、本体外装プラスチック再生利用技術確立
製品安全	含有有害物質　全構成部品：特定臭素系難燃剤（PBB、PBDE）不使用 外装プラスチック：重金属（Pb、Hg、Cr（VI）、Cd）、ハロゲン系難燃剤不使用 稼動音：約45dB（A）
包装材	含有重金属（Pb、Hg、Cr（VI）、Cd）：不使用（外装箱） リサイクル：容器包装リサイクル法のシステムによる（2000年4月より）
規格適合	国際エネルギースタープログラム、VCCI（クラスB）

お問い合わせの前に

本書または『リファレンスガイド』（CD-ROM）の「困ったときには」の章を読んでもなおトラブルの原因がはっきりしない場合は次の要領でお問い合わせください。

プリンタの故障の場合は？

どのような対処をしてもプリンタが動かなかったり、深刻なエラーが発生して回復しない場合は、プリンタの故障と考えられます。

→ お買い上げいただいた販売店またはお近くの修理受付窓口に修理を依頼してください。

別紙の「ご相談窓口のご案内」をご覧ください。

コンピュータなどのシステムの問題は？

プリンタが正常に動作し、プリンタドライバのインストールも問題なければ、プリンタケーブルやコンピュータシステム（OS、メモリ、ハードディスク、インタフェースなど）に原因があると考えられます。

→ コンピュータを購入された販売店もしくは、コンピュータメーカとご相談ください。

アプリケーションソフトの問題のようだけど？

特定のアプリケーションソフトで起きるトラブルは、アプリケーション固有の問題と考えられます。プリンタドライバを最新のバージョンにバージョンアップすると問題が解決される場合があります。

→ アプリケーションソフトメーカーの相談窓口にご相談ください。

↓

プリンタドライバのバージョンアップの方法は、別紙の「最新プリンタドライバの入手方法」をご覧ください。

修理の依頼は

●修理窓口へお持ちいただく場合

お買い上げいただいた販売店、または弊社修理受付窓口にお持ち込みください。

●修理窓口へ宅配便で送付していただく場合

・商品が輸送中の振動で損傷しないように、なるべくご購入いただいたときの梱包材をご利用ください。他の箱をご利用になるときは、丈夫な箱にクッションを入れて、商品がガタつかないようにしっかりと梱包してください。

お願い：・保証期間中の保証書は、記入漏れのないことをご確認のうえ、必ず商品に添付、または商品と一緒にお持ちください。
・保守サービスのために必要な補修部品の最低保有期間は、製品の製造打切り後約5年間です。

使用済みBJカートリッジ回収のお願い

キヤノンでは、資源の有効活用のために、使用済みBJカートリッジ並びにインクカートリッジの回収を推進しています。この回収活動は、お客様のご協力によって成り立っております。
キヤノンの環境保全と資源の有効活用の主旨にご賛同いただければ、お手数ですが、使用済みのBJカートリッジ並びにインクカートリッジを、最寄りのキヤノンカートリッジ回収協力店またはキヤノン販売営業所までお持ちください。
なお最新の回収窓口一覧、ならびに詳しいご案内につきましては、キヤノン販売ホームページにてご覧いただけます。
http://www.canon-sales.co.jp/ecology/crg_rcle.html

Canon
キヤノン製カートリッジ
回収協力店

お問い合わせのシート

ご相談の際にはすみやかにお答えするために予め下記の内容をご確認のうえ、お問い合わせくださいますようお願いいたします。また、かけまちがいのないよう電話番号はよくご確認ください。

【プリンタの接続環境について】

BJプリンタと接続しているコンピュータの機種（　　　　　　　　　　）
内蔵メモリ容量（　　　　　MB）／ハードディスク容量（　　　　　GB）
使用しているOS：Windows □2000 □Me □98 □95 □NT（Ver.　　）
□Macintosh（Ver.　　）　□その他（　　　　　　）
コンピュータ上で選択しているプリンタドライバの名称（　　　　　　　）
ご使用のアプリケーションソフト名およびバージョン（　　　　　　　）
接続方法：□直結　□ネットワーク（種類：　　　）□その他（　　　　　）
接続ケーブルメーカー（　　　　　）／品名（　　　　　　）

【プリンタの設定について】

プリンタドライバのバージョンNO.（　　　　　　　　）
コンピュータ上プリンタ設定のバージョン情報で確認できます。

【エラー表示】

エラーメッセージ（できるだけ正確に）（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）
エラー表示の場所：□パソコン　□プリンタ

Canon

BJ F210

基本操作ガイド

紙幣、有価証券などをプリンタで印刷すると、その印刷物の使用如何に拘わらず、法律に違反し、罰せられます。
関連法律：刑法 第148条、第149条、第162条
通貨及証券模造取締法 第1条、第2条
等

50%再生紙を使用しています。

Canon

QA7-1151-V03 112000A

PRINTED IN THAILAND